

V. 1. 教員の教育研究・社会貢献活動

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(2) 言語社会専攻

【アジア I 講座】

〔中国語〕

古川 裕 (FURUKAWA Yutaka) 教授

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉 広域言語実践論、広域対照言語論特別研究

〈共通教育担当科目〉 中国語（中級）

〈学部教育担当科目〉 中国語 1・2、中国語 XI、中国語学特別演習、中国語学講義、教科教育法（中国語）

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉 現代中国語文法の認知言語学的研究、日本語話者に対する中国語教育に関する研究

〈所属学会〉 世界漢語教学学会、日本中国語学会、中国語教育学会、国際中国語学学会、亜太地区国際漢語教学学会

〔研究業績〕

〈単著〉

・『現代漢語認知語法與教学語法研究』、商務印書館、345頁、2021年3月。

〈論文〉

・「近150年来日本“中国語”教学的歷程」《第一屆華語教學發展史國際研討會論文集》、國立清華大學、pp.332-340、2020年12月。

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・「日本学生漢字知識的正負影響」新中国对外漢語教学70年發展之路與未来展望學術論壇、2020年11月26日。

・「日本漢語學習者の偏誤分析及其教学对策」第二屆世界漢語研討會、大会報告、2020年12月12日。

・「多機能語の感性的教授法について—“把”のコアイメージを例として」中国語教育学会2020年度第3回研究会ワークショップ「日本語母語話者のための中国語教育—何をどう学ぶか」、2020年12月13日。

・「从在外漢語教学視覚看《國際漢語教師標準(2020)》」“國際中文教師標準與認證”國際研討會、2020年12月19日。

・「近150年来日本中国語教学的歷程」第一屆華語教學發展史國際研討會、2020年12月19日。

・「从近代以来日本“中国語”教学的歷程」“漢語國際教育的地图分布:歷史與發展”國際學術研討會、2020

年 12 月 20 日。

- ・「大学入試センター試験「中国語」(1997-2020)を振り返る」「在日中国語教育の再考：誰に、なぜ中国語を、どのように」、2021年2月14日。
- ・「介詞あれこれ、中国語のボイス」苦手克服講座、工学院大学孔子学院、2021年2月27日。
- ・「現代漢語語法感性教学法探索」天津大学国際教育学院講座、2021年3月13日。

〈研究助成〉

- ・外国人特別研究員奨励費
- ・科学研究費基盤研究(B) カスタマイズ可能な中国語教育文法の構築—ユーザー視点による体系化と実用化、研究分担者

[その他の活動]

〈管理運営〉 グローバルイニシアティブ・センター海外拠点部門地域連絡会(東アジア拠点)

〈学会活動〉 世界漢語教学学会副会長、亜太地区国際漢語教学学会理事、日本中国語学会理事、中国語教育学会代表理事、桜美林大学孔子学院理事、上海華文教育研究中心専⼈、北京語言大学対外漢語研究中心客⼈教授、同済大学国際交流学院顧問教授

〈社会貢献活動〉 同済大学(中国上海)・上海外国語大学(中国上海)・大連理工大学(中国大連)・国立高雄科技大学(台湾高雄)・北京語言大学(中国北京)との学术交流コンタクトパーソン、映画字幕翻訳講座コーディネイター、大阪アジア映画祭実行委員

深尾 葉子 (FUKAO Yoko) 教授

<https://www.fukaoyoko.com/>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語社会動態論 II

〈共通教育担当科目〉 国際コミュニケーション演習

〈学部教育担当科目〉 中国語 IXa b、中国社会演習 a b、中国文化演習 I a b、中国語 1 1 (A)、中国語 1 1 (B)

[研究活動]

〈研究テーマ〉 黄砂発生の社会経済的アプローチ、中国黄土高原農村社会のコミュニケーションダイナミクス、海外中国人ネットワークの動態分析

〈所属学会〉 歴史文化工学会

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・大阪大学 Innovation Bridge グラント大型産学共創コンソーシアム組成支援プログラム
「健康長寿を実現する北摂市民による住民参加型プロジェクト」(2018年9月～継続中)
科学研究費基盤研究 B 黄砂発生地域における表層土壌回復のための社会経済的アプローチ 代表者(2014年～継続中)

[その他の活動]

〈管理運営〉 一般社団法人 アクト・ビヨンド・トラスト助成事業審査委員

〈学会活動〉 歴史文化工学会副代表

今泉 秀人 (IMAIZUMI Hideto) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化表象論II

〈共通教育担当科目〉 中国語中級

〈学部教育担当科目〉 中国語 3、中国語 1 4、中国語VIII、中国文学研究、中国文学特別演習II、中国文学講義I、中国研究概論

[研究活動]

〈研究テーマ〉 中国現代文学、中国語圏文学

〈所属学会〉 日本中国学会、日本現代中国学会、中国文芸研究会、日本比較文学会

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・ 科研費基盤研究 (C) 「近代中国の知識人群像——日中 15 年戦争期の民国教科書編纂事業と三人の作家について」 (2017-2020)

[その他の活動]

〈管理運営〉 講座代表者会議委員

林 初梅 (LIN Chumei) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化資源論II

〈共通教育担当科目〉 言語社会研究入門

〈学部教育担当科目〉 中国文化演習II、中国語講義IV、中国語講義XII、中国語 17、中国語 5B

[研究活動]

〈研究テーマ〉 文化的装置としての〈日本〉——戦後台湾における集合的記憶の社会的構成に関する研究

〈所属学会〉 日本台湾学会、大阪大学言語社会研究会、東アジア近代史学会、多言語社会研究会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ 林初梅・黄英哲編著『民主化に挑んだ台湾——台湾性・日本性・中国性の競合と共生』風媒社、2021年3月

〈論文〉

- ・ 「歴史小説とその改編ドラマにみる「日本」記憶の語り——台湾人三作家が描いた家族史」『言語文化研究』第47号、2021年3月、大阪大学大学院言語文化研究科、pp.123-143
- ・ 「世界につながる華語 東南アジアとつながる台湾語」『生産と技術』、第73巻第1号、2021年1

月、pp.83-86

- ・「近代日本之華語教材研究：解説「華語」一詞所含的意象」『第一屆華語教学發展史国際研討会論文集』清華大学（台湾）、2020年12月、pp.341-350

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「現代台湾における家族史の語りとドラマ化：日本時代をめぐる集合的記憶の再形成」第6回「現代台湾における植民地記憶の語りに関する研究」研究会にて、Googlemeeting 会議（2020年8月29日開催）

〈研究助成〉

- ・科学研究費助成事業 基盤研究（B）「文化的装置としての〈日本〉—戦後台湾における集合的記憶の社会的構成に関する研究」2018年4月～2022年3月（研究課題番号：18H03445）研究代表者

- ・台湾研究講座（研究代表者）2019年4月～2022年3月

〈調査活動〉

- ・日本人台湾引揚者の戦後、戦後初期台湾人の進学体験、台湾における新住民言語教育の現在

[その他の活動]

〈管理運営〉中国語専攻学科目代表

〈学会活動〉日本台湾学会理事

鈴木 慎吾 (SUZUKI Shingo) 講師

<http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/user/suzukish/>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語構造論 IA・B、アジア・アフリカ言語構造論特別研究 A・B

〈共通教育担当科目〉広東語

〈学部教育担当科目〉中国語 16（広東語初級）、中国語 19（広東語初級）、中国語 Va・b（広東語中級）、中国語学演習 IIIa・b、中国語学特別演習 IIIa・b

[研究活動]

〈研究テーマ〉中国語学（音韻・方言）

〈所属学会〉日本中国語学会、日本中国学会、漢字文献情報処理研究会、中国語教育学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・鈴木慎吾、「古漢語音韻データベース「諸家詩經韻讀」の構築」『外国語教育のフロンティア』4、pp.1-7、2021.3

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・鈴木慎吾、「漢語上古音データベース「諸家詩經韻讀」の構築について（上古音入門講座を兼ねて）」、「平安時代漢字字書総合データベースの機能高度化と類聚名義抄注釈の作成」研究集会、2020.9.25、北海道大学（Zoom）

〈研究助成〉

- ・「中国語上古音研究資料総合データベースの構築」(科学研究費補助金基盤研究(C) 2020-22年度; 研究代表者)
- ・「平安時代漢字字書総合データベースの機能高度化と類聚名義抄注釈の作成」(科学研究費補助金基盤研究(A) 2019-22年度; 研究分担者)
- ・「古典漢文依存文法コーパスにもとづく係り受け構造の自動抽出」(科学研究費補助金基盤研究(B) 2020-22年度; 研究分担者)

[その他の活動]

〈管理運営〉言語社会専攻コンテンツ管理委員(2012年4月～)、同委員長(2019年4月～)、ネットワーク管理委員(2012年4月～)

〈学会活動〉日本中国語学会ウェブリソース委員長(2012年4月～)、評議員(2016年4月～)、中国語学セミナーWG委員(2018年11月～)、学会オンラインWG委員(2021年2月～)

中田 聡美 (NAKATA Satomi) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉広域対照言語論 I A, I B、世界の言語事情(リレー)

〈共通教育担当科目〉中国語中級

〈学部教育担当科目〉中国語 1(B)、中国語 2(B)、東アジア言語文化概論、中国語 XIIIa, XIIIb、中国語学講義 Ia、中国語学特別演習 IIa, IIb

[研究活動]

〈研究テーマ〉現代中国語のモダリティ研究、日本語母語話者に対する中国語教育研究

〈所属学会〉日本中国語学会、中国語教育学会、国際中国語学学会、大阪大学言語社会学会

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「浅谈日本初级汉语教材中语气词的编写问题」, 中田聡美, 国際漢語教材設計暨遠程電子學術會議國際論壇(オンライン), 2020年7月11日

- ・「中国語初級教科書における語気助詞の扱いを再考する—語気助詞“吧”を例に—」, 中田聡美, 中国語教育学会 2020年度第3回研究会・ワークショップ(オンライン), 2020年12月13日

〈研究助成〉

- ・「ユーザー視点による中国語教育文法設計の方法論構築—項目の分散化と説明の平易化—」(基盤研究(C), 2019年4月-2022年3月, 研究分担者)

[その他の活動]

〈管理運営〉国際交流委員会委員、研究・広報・社会貢献委員会委員、協定校コンタクトパーソン

〈学会活動〉中国語教育学会デジタルリソース委員会委員長、大阪大学言語社会学会理事

劉 文兵 (LIU Wenbing) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化表象論

〈共通教育担当科目〉 アジアの社会と文化を知る

〈学部教育担当科目〉 中国語 3、中国語 15、中国語VIIa,b 中国語Xb、中国文学講義 Ia、中国文学特別演習 I

[研究活動]

〈研究テーマ〉 中国映画史、日中映画交流史、欧米映画に描かれたアジア人の表象

〈所属学会〉 日本現代中国学会、表象文化論学会、日本映像学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

〈共著〉

- ・劉文兵「論考：岩井俊二監督作品は中国でどう見られてきたか」夏目深雪編『岩井俊二「Love Letter」から「ラストレター」、そして「チファの手紙」へ』、河出書房新社、2020年11月、pp.72-79
- ・劉文兵「ドキュメンタリータッチの大切さ チョウ・シュン（周迅）インタビュー」夏目深雪編『岩井俊二「Love Letter」から「ラストレター」、そして「チファの手紙」へ』、河出書房新社、2020年11月、pp.38-42

〈論文〉

- ・劉文兵「日中戦争と映画—歴史表象とそのエンターテインメント性」、日芸映画祭『中国を知る』パンフレット、2020年12月、pp.4-8
- ・劉文兵「大林宣彦監督との出会いは神様のお導きでした：『北京的西瓜』の女優・黎涓さんインタビュー」、『東方』473、2020年8月、pp.2-7

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・劉文兵「日本映画は中国でどのように愛されてきたのか」、(一財)福岡ユネスコ協会主催の講演会、2020年6月28日
- ・劉文兵「表象文化論学会第2回オンライン研究フォーラム 研究報告」、表象文化論学会、「ニューズレター『REPRE』」41号、2021年3月7日

〈研究助成〉

日本学術振興会 科学研究費助成事業・基盤研究 C (研究代表者：劉文兵「近年の中国における日本映画の受容とリメイクにみる日本のイメージの反転」)

張 恒悦 (ZHANG Hengyue) 特任准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 広域言語実践論 A

〈学部教育担当科目〉

[研究活動] 中国語 5(A)、中国語 Ia(A)、中国語 18、中国語 12(AB)、中国語Ib(A)、中国語 IIab(B)

〈研究テーマ〉 誤用分析に基づいた中国語教育文法の研究及び指導法への提言

〈所属学会〉 日本中国語学会 中国語教育学会 日中対照言語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「差比句偏誤問題研究」『中国語教育』第19号、pp.37-52、2021.3、中国語教育学会
- ・「语法点引入時の話題と场景設定—以差比句の処理为例」『外国語教育のフロンティア』VOL.4、pp.9-18、2021.3、大阪大学言語文化研究科

〈口頭発表〉

「语法点引入時の話題と场景設定—以差比句の処理为例」中国語教育学会 2020 年度第 3 回研究会、2021.12.13（オンライン開催）

〈研究助成〉

「ユーザー視点による中国語教育文法設計の方法論構築」（科研費 19K00838）

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉

「漢語橋」第 19 回世界大学生中国語スピーチコンテスト出場者への指導が評価され、「優秀教師指導賞」を受賞（2020.7.30）。

[朝鮮語]

岸田 文隆 (KISHIDA Fumitaka) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア・アフリカ言語構造論特別研究Ⅱ、アジア言語構造論Ⅱ、アジア言語文化表象論Ⅲ

〈学部教育担当科目〉朝鮮語Ⅱ、朝鮮語ⅠⅢ、朝鮮語Ⅳ、朝鮮語学講義、朝鮮語学演習Ⅱ、朝鮮語科教育法

[研究活動]

〈研究テーマ〉江戸・明治期の日本の朝鮮語学書についての研究

〈所属学会〉朝鮮学会、満族史研究会、朝鮮語研究会、国際訳学書学会

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・科学研究費補助金基盤研究（C）、課題番号：17K02725、研究課題名：江戸・明治期日朝往復ハングル書簡類データベースの構築

[その他の活動]

〈管理運営〉外国語学部副学部長、FD 研修委員会委員、留学生支援ネットワーク担当責任者

〈学会活動〉朝鮮学会幹事、満族史研究会幹事、朝鮮語研究会幹事、国際訳学書学会会長

〈社会貢献活動〉東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所研修専門委員会委員

小西 敏夫 (KONISHI Toshio) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア・アフリカ言語構造論、アジア・アフリカ言語社会研究序説、アジア・アフリカ言語構造論特別研究

〈共通教育担当科目〉地域言語文化演習(朝鮮語)

〈学部教育担当科目〉朝鮮語、朝鮮語学演習、朝鮮文学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉『積譜詳節』『月印千江之曲』『月印積譜』とその原典における言語表現の違いについて

〈所属学会〉朝鮮学会、日本言語学会、西日本言語学会

酒井 裕美 (SAKAI Hiromi) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語社会動態論IA、アジア・アフリカ言語社会論特別研究 A

〈共通教育担当科目〉学問への扉

〈学部教育担当科目〉朝鮮語 1 2、朝鮮社会文化概論、朝鮮文化講義 b、朝鮮文化演習I、朝鮮文化演習II、朝鮮文化演習VI

[研究活動]

〈研究テーマ〉開港期朝鮮の外交政策

〈所属学会〉朝鮮史研究会、朝鮮学会、歴史科学協議会、上智史学会、東アジア近代史学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「日朝両国通漁規則（一八八九年）締結交渉の再検討－済州通漁問題をめぐる朝鮮外交の展開を中心に」『上智史学』第六五号、2020年11月、11－27頁

[モンゴル語]

塩谷 茂樹 (SHIOTANI Shigeki) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉モンゴル語

〈共通教育担当科目〉ユーラシアの文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉モンゴル語、アルタイ諸語

[研究活動]

〈研究テーマ〉モンゴル言語学（形態論、語彙論）、モンゴル口承文芸（ことわざ、民話、慣用句）

〈所属学会〉日本モンゴル学会、国際モンゴル学会

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・「中国のモンゴル系民和土族語における文法記述と語彙に関する総合的研究」2020年度基盤研究(C)

今岡良子 (IMAOKA Ryoko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語社会構造論 I A/B

〈共通教育担当科目〉現代社会を読み解く、平和の探求、特別外国語演習（モンゴル語）II

〈学部教育担当科目〉モンゴル語 2、モンゴル語 15、モンゴル社会文化概論、モンゴル社会講義 a/b、
モンゴル社会演習 IIa/b、モンゴルフィールドワーク演習 a/b

[研究活動]

〈研究テーマ〉遊牧と生物多様性

〈所属学会〉畜産システム研究会、日本環境学会、国際モンゴル学会、モンゴル研究会

中嶋 善輝 (NAKASHIMA Yoshiteru) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語構造論 V A, B

〈共通教育担当科目〉モンゴル語初級 I

〈学部教育担当科目〉モンゴル語 3、モンゴル語学演習 I, II a, b、モンゴル語 13、カザフ語 a, b

[研究活動]

〈研究テーマ〉モンゴル語とチュルク語の言語接触、アルタイ言語学

〈所属学会〉日本モンゴル学会、大阪大学言語社会学会、国際モンゴル学会

[研究業績]

[その他の活動]

〈学会活動〉日本モンゴル学会理事（および紀要編集委員）、国際モンゴル学会書記局メンバー

Magsarjav Bayarsaikhan, Specially Appointed Lecturer

[Teaching activities]

<Graduate School classes> mongolian

<Foreign language classes> mongolian

[Academic activities]

<Research Fields and interests> linguistics

<Academic society memberships> International Association for Mongol Studies, Japan Association for Mongolian Studies

【アジア II 講座】

[インドネシア語]

菅原 由美 (SUGAHARA Yumi) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語社会動態論、アジア・アフリカ言語社会論特別研究、グローバル地域
研究方法論、グローバル地域社会論、グローバル地域研究演習

〈共通教育担当科目〉学問への扉、歴史学方法論講義：歴史学のフロンティア、大阪大学の歴史

〈学部教育担当科目〉インドネシア語、インドネシア文化概論、インドネシア文化講義 I、インドネ
シア文化演習 II、東南アジア社会文化演習 II (K)、言語文化比較交流論 (H-I)、東南アジア地域研
究概論、その他 海外研修 (インドネシア)

[研究活動]

〈研究テーマ〉インドネシア史、東南アジア・イスラーム史

〈所属学会〉東南アジア学会、史学会、日本インドネシア学会、日本イスラム協会、インドネシア研
究懇話会、Masyarakat Pernaskahan Nusantara/ Manassa (インドネシア写本学会、インドネシア)、
Koninklijk Instituut voor Taal-, Land- en Volkenkunde (王立言語地理文化研究所、オランダ)

[研究業績]

〈書籍〉

- ・ SUGAHARA, Yumi ed. 2021. *Comparative Study of Southeast Asian Kitabs (6): Paradise and Hell*. SIAS Working paper series 34. Tokyo: Center for Islamic Studies, Sophia University. vi+122p.

〈論文〉

- ・ SUGAHARA, Yumi. 2021. “Changes in the Description of Hell in the Literature in the 19th-Century Southeast Asia: Daqā’iq al-Akhabār and the Javanese Serat Centhini” Yumi Sugahara ed. *Comparative Study of Southeast Asian Kitabs (6): Paradise and Hell*. SIAS Working paper series 34. Tokyo: Center for Islamic Studies, Sophia University: 61-73.
- ・ SUGAHARA, Yumi. 2021. “The balance between Islam and worldly politics in the Babad Dipanagara” Ikuya TOKORO & Hisao TOMIZAWA eds. *Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia (Vol. 3)*, Tokyo: ILCAA, TUFUS: 37-57. 総ページ数 243 ページ. ISBN : 978-4-86337-341-9

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 菅原由美. 2021. 「キターブを中心にみた東南アジアにおけるイスラーム知の展開」科研「東南アジア大陸部におけるイスラーム受容と社会関係の歴史像構築のための基盤研究」研究会. 1月23日. オンライン
- ・ Yumi Sugahara. 2021. “What were the Most Important Points for Disseminating the Religion in the Early Period of Islamization in Java ? : Analysis of the Oldest Extant Islamic Manuscripts” New Directions in the Study of Javanese Literature. Online workshop March 7-9, 2021. The Hebrew University of Jerusalem.
- ・ 菅原由美. 2021. 「東南アジア島嶼部におけるアミル・ハムザ物語」科研「ペルシア歴史物語の生成、伝播、受容に関する学際的研究」(近藤信彰代表) 研究会. 3月21日. オンライン

〈研究助成〉

- ・ 科研基盤研究 (C) 「多言語イスラーム書からみる南部フィリピン・ムスリム知識人の知的営為とネットワーク」(代表川島緑)(令和 2~6 年度) 研究分担者

- ・ 科研基盤研究 (B)「東南アジア大陸部におけるイスラーム受容と社会関係の歴史像構築のための基盤研究」(代表：池田一人) 研究分担者 (令和 2~5 年度)
- ・ 科研基盤研究 (B)「東南アジア島嶼部におけるアミル・ハムザ物語」科研「ペルシア歴史物語の生成、伝播、受容に関する学際的研究」(代表：近藤信彰) 研究分担者 (令和 2~5 年度)
- ・ 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究「ジャワ語及び東南アジア諸語テキストにみる宗教変容—イスラーム化過程における国家の戦略と役割」(2019-2021 年度) 研究代表
- ・ 京都大学東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究 (IPCR)「イスラーム受容体としての東南アジア：上座部仏教社会におけるムスリム共生の歴史的・人類学的研究」研究代表 池田一人(2019-2020 年度) 研究分担者
- ・ 文部科学省科学研究費助成事業 学術変革領域研究 (A)「イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築—世界の分断をのりこえる戦略知の創造」(代表：黒木英充)「B-02 思想戦略班 (班代表 山根聡) 令和 2(2020)~6(2024)年度 研究分担者

[その他の活動]

〈管理運営〉

- ・ 外国語学部入試委員会委員長
- ・ ネットワーク運用管理委員会委員
- ・ コンテンツ管理委員会委員
- ・ 適塾記念センター・オランダ学研究部門兼任教員
- ・ 大阪大学先導的学際研究機構 (OTORI) グローバルヒストリー研究部門メンバー

〈学会活動〉

- ・ 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所出版 Javanese Studies Series 編集委員
- ・ Javanese documents online (JVDO) URL: <https://jvdo.aa-ken.jp/>
- ・ インドネシア写本学会誌 *Manuskripta: Jurnal Manassa* 編集顧問
- ・ 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用共同研究「東南アジアにおけるイスラーム主義と社会・文化要因の相互作用に関する学際的研究—トランスナショナルなネットワークと現地の応答」(2020 年度~2022 年度) 共同研究員
- ・ 日本東南アジア学会会計理事 (2019.1~2020.12)
- ・ インドネシア研究懇話会(KAPAL)総務 (2019.1~)
- ・ 箕面アジア勉強会/ 大阪大学地域研究フォーラム (OUFAS) 世話人

〈社会貢献活動〉

- ・ 菅原由美「17世紀バタヴィアにおけるオランダ人と欧亜混血児」第13回適塾講座 A Narrow Bridge (一本の細い橋) ~オランダと日本、400年の交流史から. 2020.11.19. 適塾記念センター主催. 大阪大学共創機構社学共創部門協力. 大阪大学中之島センター.

原 真由子 (HARA Mayuko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語構造論 IX、アジア・アフリカ言語構造論特別研究 A、世界の言語事情（リレー講義）

〈共通教育担当科目〉特別外国語（インドネシア語初級）

〈学部教育担当科目〉インドネシア語4、インドネシア語13、インドネシア語III、インドネシア語学講義I、インドネシア語学演習I

[研究活動]

〈研究テーマ〉社会言語学（インドネシア・バリ）、言語学、インドネシア語教育

〈所属学会〉日本言語学会、社会言語科学会、日本音声学会、日本インドネシア学会、外国語教育学会、Masyarakat Linguistik Indonesia

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ 原真由子(2020)『世界の言語シリーズ14 インドネシア語』大阪大学出版会
- ・ 降幡正志、原真由子(2020)『ニューエクスプレスプラス インドネシア語』白水社

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 降幡正志、原真由子、森山幹弘(2020)「インドネシア語応用教材に関する共同研究からの報告」『インドネシア 言語と文化』26号、pp.105-114
- ・ Hara Mayuko, “Laporan perkuliahan kemahiran bahasa Indonesia secara daring di Universitas Osaka”, Seminar Tahunan APPBIPA Cabang Jepang 2020 “Pengajaran BIPA Berbasis Daring”, 2020.9.25-26 (発表日 9.25) (Zoomによる)
- ・ 原真由子「インドネシア語のとりたて表現」、Prosody and Grammar Festa 5、主催：国立国語研究所、2021.2.20-21 (発表日 2.21) (Zoomによる)

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費補助金・基盤研究(C)「バリ語山地方言の会話コーパスと語彙データベースの構築」研究代表者
- ・ 科学研究費補助金・基盤研究(C)「日本におけるインドネシア語応用教材の研究と開発および教材バンクの拡張」(研究代表者：森山幹弘) 研究分担者
- ・ 科学研究費補助金・基盤研究(B)「アフリカ諸言語における受動態の形態統語に関する類型論的比較・対照研究」(研究代表者：小森淳子) 研究分担者

[その他の活動]

〈管理運営〉インドネシア語学科目代表、研究・広報・社会貢献委員会、大学間学術交流協定コンタクトパーソン（インドネシア大学）、部局間学術交流協定コンタクトパーソン（ウダヤナ大学）

〈学会活動〉日本インドネシア学会事務局

松村智雄 (MATSUMURA Toshio) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語社会動態論 VIII A、アジア言語社会動態論 VIII B、グローバル地域研究方法論（リレー講義）

〈学部教育担当科目〉東南アジア社会文化演習 IIa(G)、(地域系科目)東南アジア社会文化演習 IIa(G)、東南アジア社会文化演習 IIb(G)、(地域系科目)東南アジア社会文化演習 IIb(G)、インドネシア文化演習 Ia、インドネシア文化演習 Ib、インドネシア語 1、インドネシア語 14、インドネシア文化講義 IIa、インドネシア文化講義 IIb

[研究活動]

〈研究テーマ〉インドネシア地域研究、華人研究

〈所属学会〉アジア政経学会、東南アジア学会、日本華僑華人学会

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・「新資料による 1950 年代インドネシアの華人をめぐる政治状況分析」科研費「若手研究 (B)」(2017 ~2021 年度)

[その他の活動]

〈管理運営〉紀要編集委員会委員

〈学会活動〉日本華僑華人学会学会誌『華僑華人研究』17 号編集委員

Dwi Puspitorini, Specially Appointed Associate Professor

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Indonesian 2, Indonesian 3, Indonesian 11, Indonesian 12, Indonesian Ia, Indonesian Ib, Indoneisan IIa, Indonesia IIb, Lecture on Indonesian Linguistics IIa, Lecture on Indonesian Linguistics IIb, Lecture on Indonesian Cultures IVa, Lecture on Indonesian Cultures IVb

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Linguistics

<Academic society memberships> HPISJ, MLI, Manassa

[Research achievements]

<Books>

- ・ *Nusantara's Indigenous Knowledge*
(editor, <https://novapublishers.com/shop/nusantaras-indigenous-knowledge/>)
- ・ “BIPA Learner’s Strategies for Learning Indonesian Vocabulary in Implicit Learning” (co-author, Book Chapter *On Language, Education, Politics, and Identity: A Cross-Linguistics Perspective*, <https://novapublishers.com/shop/on-language-education-politics-and-identity-a-cross-linguistics-perspective/>)

<Papers>

- ・ “The Efforts of Javanese Language in Creating Internet Terms”
(co-author, <http://journal.univetbantara.ac.id/index.php/kawruh/article/view/653>)

- ・ “Middle Javanese Language Revisited” (<https://doi.org/10.18910/79357>)

<Oral Presentations, Lectures, Reports in conference>

- ・ Interactive Talk on Challenges Faced by Teachers When Teaching Grammar to BIPA Students, organized by the BIPA LBI FIB UI Program, July 18, 2020) through the ZOOM application and YouTube (https://youtu.be/5_er_SgMmf0)
- ・ Webinar on Panginyongan Language, organized by Pusat Kajian dan Pengembangan Budaya Panginyongan, IAIN Purwokerto, 7 November 2020
- ・ Webinar on Javanese 4.0: Variation and Local Identity, organized by the Linguistics Department, FIB UI, 2 December 2020
- ・ Intensive Course in Old Javanese for Graduate Student, organized by the Linguistics Department of FIB UI 1-12 February 2021

[Other activities]

- ・ Reviewer for BIPA Teaching Materials, organized by Pusat Pengembangan dan Pelindungan Bahasa dan Sastra, Badan Pengembangan dan Pembinaan Bahasa, Ministry of Education and Culture of the Republic of Indonesia, 12-13 November 2020, through the Zoom application
- ・ Moderator at online public lecture on old Javanese language and literature, organized by the National Library of Indonesia in collaboration with the Javanese Literature Study Program, FIB UI and MANASSA, 30 September 2020 through Zoom and Youtube (<https://youtu.be/5bLdoNqrqk>)

[フィリピン語]

宮原 暁 (MIYAHARA Gyo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語社会構造論 IVA、アジア・アフリカ言語社会論特別研究 A、B、多言語共生社会演習、グローバル共生実践演習

〈共通教育担当科目〉 マイノリティを読む

〈学部教育担当科目〉 東南アジア社会文化演習 I、II、フィリピン語 3、15、フィリピン社会演習 I、現代ジャーナリズム論 I、II、多言語共生社会演習、グローバル共生実践演習、海外フィールドスタディ C

[研究活動]

〈研究テーマ〉 東・東南アジア近代における多声的アイデンティティ・モデルの可能性、東南アジア華僑華人社会の知識人類学的研究

〈所属学会〉 東京都立大学社会人類学会、日本華僑華人学会、東南アジア学会、

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 「語ることのできな『真ん中』—小説『骨』とディアスポリック・チャイニーズの時間」『華僑華人研究』17号、7-19頁。

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ “ASEAN Identity” and Sinicization: Focusing on the Filipino-Chinese Inter-Ethnic Relationship, St. Andrew's-IIR Workshop on the New Dynamics of Political Economy in Southeast Asia (Nov. 16, 2020, 国立政治大学国際関係研究中心 (オンライン))
- ・ 日本華僑華人学会 2020 年度研究大会開催校企画セミナー「華人めし」「ソウルフード以前ーカモテは食べたことがない」(2020 年 11 月 14 日 山口大学)
- ・ ICU アジア文化研究所・JFE21 世紀財団共催シンポジウム「いま問われるアジア共生の道：アジア歴史研究の視点から」「ディアスポリック・チャイニーズのリテラシーとオラリテー東アジア近代における社会・文化的アイデンティティの多声性」(2020 年 11 月 21 日) (オンライン)

〈研究助成〉

- ・ JFE21 世紀財団アジア歴史助成
- ・ 科研費基盤研究 (B) 「戦後冷戦初期日本の華僑社会に関する実証的研究：東アジア秩序の再構築」(代表陳來幸)
- ・ 科研費基盤研究 (B) 「イスパノアジアとしてのフィリピン諸島：物質資料と文献資料によるメキシコとの比較史」(代表立岩礼子)

[その他の活動]

〈管理運営〉 グローバルイニシアティブ・センター兼任

〈学会活動〉 日本華僑華人学会理事

宮脇 聡史 (MIYAWAKI Satoshi) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア・アフリカ言語社会論特別研究、グローバル地域研究方法論、グローバル地域研究演習、グローバル地域社会論、アジア言語社会構造論III

〈共通教育担当科目〉 アジアの文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉 フィリピン語 4、フィリピン語 13、フィリピン語III、東南アジア社会文化演習、フィリピン社会演習、東南アジア地域研究概論、言語文化比較交流論

[研究活動]

〈研究テーマ〉 フィリピンのキリスト教会とフィリピン政治社会

〈所属学会〉 東南アジア学会、「宗教と社会」学会、アジア政経学会、日本比較政治学会

[研究業績]

〈書評・論評・紹介〉

- ・ Review– *The Way of the Cross: Suffering Selfhoods in the Roman Catholic Philippines*, in *Kyoto Review of Southeast Asia* Issue 29, CSEAS, Kyoto University.

(<https://kyotoreview.org/issue-30/review-the-way-of-the-cross-suffering-selfhoods-in-the-roman-catholic-philippines/>)

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 阪大外国語学部×みのお市民活動センター「マンスリー多文化サロン」特別編 「うごめくフィリピン、その祈りと旅路」(2020年11月19日)

[その他の活動]

- 〈管理運営〉 総務委員長、なんでも相談室員
- 〈学会活動〉 アジア政経学会書評委員
- 〈社会貢献活動〉 特定非営利活動法人アイキャン理事

矢元 貴美 (YAMOTO Kimi) 助教

- 〈研究科担当科目〉 アジア言語構造論 XI、世界の言語事情 (リレー講義)
- 〈共通教育担当科目〉 アジアの文化と社会を知る E (フィリピンの文化と社会を知る)
- 〈学部教育担当科目〉 フィリピン語 I、フィリピン語 II、フィリピン語 I、フィリピン言語講義 I、フィリピン言語演習、フィリピン言語特別演習 I・II、教科教育法 (フィリピン語)、東南アジア地域研究概論 (A) (リレー講義)

[研究活動]

- 〈研究テーマ〉 異文化間教育、移民政策、母語・継承語教育、第二外国語教育
- 〈所属学会〉 大阪大学言語社会学会、母語・継承語・バイリンガル教育学会、日本社会学会、多文化関係学会、移民政策学会、異文化間教育学会

[研究業績]

- 〈論文〉
- ・ 矢元貴美 (2021) 「持ち込み・参照可の読解力測定試験における内容的妥当性 (研究ノート)」『外国語教育のフロンティア』 4: 263-274。

[研究助成]

- ・ 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手研究「フィリピンにルーツを持つ子どもを対象とした母語・継承語教育の実態と教材開発」(令和2年度～令和5年度、課題番号 20K13105、研究代表者)
- ・ 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B)) 「アフターコロナにおける女性移民のトランスナショナルな生活世界に関する国際比較研究」(令和2年度～令和6年度、研究代表者: 賽漢卓娜、課題番号 20KK0039、研究分担者)

[その他の活動]

- 〈管理運営〉 国際交流委員会委員、研究・広報・社会貢献委員会委員
- 〈学会活動〉 異文化間教育学会紀要編集委員会常任委員、多文化関係学会学会誌編集委員

白石 奈津子 (SHIRAISHI Natsuko) 助教

[教育活動]

- 〈研究科担当科目〉 アジア言語社会構造論 Va / Vb
- 〈共通教育担当科目〉 アジアの文化と社会を知る G

〈学部教育担当科目〉 フィリピン語 5 (初級フィリピン語)、フィリピン語 1 2 (中級フィリピン語)、
フィリピン語 IVa / IVb (上級フィリピン語)、東南アジア社会文化演習 IIa / IIb (G)、フィリピン
社会文化演習 Ia / Ib

[研究活動]

〈研究テーマ〉 フィリピン農村部における民族間関係の研究、ロンドンにおけるフィリピン人コミュニ
ティの研究

〈所属学会〉 日本文化人類学会、地域農林経済学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・白石奈津子 (2020) 「農家世帯経営と農村開発の構造-フィリピン、山地民集落における開発プロジ
ェクトの事例から-」、新山陽子編『農業経営の存続、食品の安全』昭和堂、105-124

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・白石奈津子「洪水が映す持続の中の変化-フィリピン農村部民族間関係の考察-」日本文化人類学
会 第 54 回研究大会 2020 年 5 月 30 日 (オンライン開催)
- ・白石奈津子「“Magagandang buhay”を求めて: ロンドンにおける正規/非正規移民問題と人々の戦略」
フィリピン研究会国フォーラム 第 25 回大会 2020 年 7 月 5 日 (オンライン開催)

Edgar Calabia Samar, Specially Appointed Lecturer

<http://www.edgarcsamar.com>

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Asian Languages and Cultural Representations VIIIA, Asian Languages and
Cultural Representations VIIIN, Special Seminar in Filipino A, Special Seminar in Filipino B

<Foreign language classes> Filipino 2, Filipino 3, Filipino 14, Filipino 15, Lecture on Filipino Language IIIa,
Lecture on Filipino Language IIIb, Lecture on Filipino Literature

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Philippine Literature, Language, and Culture

<Academic society memberships> Linangan sa Imahen, Retorika, at Anyo; Filipinas Institute of Translation

[Other activities]

<Academic society activities> LIRA Lecture, MIBF Book Launch, Barlaya Lecture

[タイ語]

宮本 マラシー (MIYAMOTO Marasri) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア・アフリカ文化表象論特別研究 A, B、 アジア言語文化表象論 IV A, B

〈共通教育担当科目〉 学問への扉 (タイ語研究入門)、特別外国語演習 (タイ語) I

〈学部教育担当科目〉 ←タイ語 5、タイ語 13、タイ語IVa,b、タイ語科教育法I、II、タイ語学演習 a,b、

東南アジア言語講義 a,b

[研究活動]

〈研究テーマ〉タイ語における反復表現、タイ語教材研究

〈所属学会〉日本言語学会、社会言語科学会、日本認知言語学会、大阪外国語大学言語社会学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「タイ語における形容詞の反復」、『外国語教育フロンティア』第4号、大阪大学大学院言語文化研究科、pp.29-43、2021年3月。

[その他の活動]

〈管理運営〉大学院入試委員会委員、全学教育推進機構委員

〈社会貢献活動〉朝日カルチャーセンター「タイ語会話」講師

村上 忠良 (MURAKAMI Tadayoshi) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語社会構造論、アジア地域社会論

〈学部教育担当科目〉タイ語1、タイ語11、タイ語II、東南アジア社会文化演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉声の実践によるテキスト共同体—東南アジア大陸部の仏教写本をめぐる宗教実践

〈所属学会〉日本文化人類学会、日本タイ学会、東南アジア学会、大阪大学言語社会学会

〈研究助成〉

- ・科学研究費補助金、基盤(A)、「東南アジア大陸部宗教研究の新パラダイムの構築」、研究分担者、研究代表者：片岡樹(京都大学)
- ・科学研究費補助金、基盤(B)、「声の実践によるテキスト共同体—東南アジア大陸部の仏教写本をめぐる宗教実践」、研究代表者

[その他の活動]

〈管理運営〉全学入試委員会委員、全学教育課程委員会委員、外国語学部副学部長

〈学会活動〉日本タイ学会理事、大阪大学言語社会学会理事

〈社会貢献活動〉大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会「咲耶会」幹事

日向 伸介 (HINATA Shinsuke) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語社会動態論 VA/VB、グローバル地域研究方法論(分担)

〈学部教育担当科目〉タイ語3、タイ語15、タイ語III a/b、タイ社会演習 a/b、タイ社会講義 a/b、東南アジア地域研究概論(B)(分担)

[研究活動]

〈研究テーマ〉タイ近現代史、地域研究

〈所属学会〉 東南アジア学会、日本タイ学会、全日本博物館学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・日向伸介. 2021. 「冷戦期タイにおける性的少数者の空間形成：パッタヤー歓楽街を事例として」『東南アジアと「LGBT」の政治』（日下渉, 伊賀司, 青山薫, 田村慶子編著）明石書店, 160-180. (共著)

〈論文〉

- ・日向伸介. 2021. 「1910年「シヤム国の教育に関する勅語」公布計画：経緯と思想的背景」『新世紀人文学論集』4, 311-326. (査読あり)

〈書評・論評・紹介〉

- ・日向伸介. 2021. 国際交流基金ウェブサイト「jalan-jalan di Asia」での文献紹介：トンチャイ・ウイニッチャクン著『地図がつくったタイ：国民国家誕生の歴史』（<https://jalan-asia.jfac.jp/74/ja/>）（日本語／英語版あり）

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・日向伸介. (書評)「赤木攻著『タイのかたち』」（日本タイ学会 2020 年度研究大会, 2020 年 10 月 10 日, オンライン開催）

〈研究助成〉

- ・2019 年度文部科学省:科学研究費補助金（若手研究）「外交史料からみる近代タイの文化政策：絶対王制期を中心として」（代表者：日向伸介）（継続）
- ・2019 年度文部科学省:科学研究費補助金（基盤研究（B））「東南アジアの現代芸術におけるラーマーヤナの多元的意味に関する研究」（代表者：福岡まどか）（継続）

[その他の活動]

〈管理運営〉 第 14 回国際タイ学会（14th International Conference on Thai Studies）運営委員

〈学会活動〉 日本タイ学会理事

Buranapatana Maliwan, Specially Appointed Associate Professor

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Thai Language and Culture, Short Stories and Thai Society, Language Variations, Language Change

<Foreign language classes> Thai Folktales, Thai Short Story: Interpretative Reading, Thai Ia Academic Speaking, Thai Ib Thai Speech, Thai 4 Listening I, Thai 14 Listening II, Thai 2 Conversation in Daily Life I, Thai 12 Conversation in Daily Life II

[Academic activities]

Training activities on Thai speech contest at Kanda University of International Studies, Tokyo

<Research Fields and interests> Teaching Thai as a foreign language, Classical Thai literature, Usage of Thai language

[Other activities]

<Academic society activities> Training activities for the students focus on learning Thai culture such as Songkran festival or Thai new year, Thai food and Thai dancing

[ベトナム語]

清水 政明 (SHIMIZU Masaaki) 教授

<http://hoithanglong.com/>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化資源論VII、アジア地域社会論 B、アジア・アフリカ言語構造論 特別研究、グローバル地域社会論、グローバル地域研究演習、グローバル地域研究方法論、世界の言語

〈共通教育担当科目〉アジア言語文化研究入門、情報社会基礎

〈学部教育担当科目〉ベトナム語 2、ベトナム語 13、ベトナム語 V、ベトナム言語演習、東南アジア社会文化演習 II(D)、言語文化比較交流論、卒業論文

[研究活動]

〈研究テーマ〉ベトナム語教育、ベトナム語音韻史、チュノム研究

〈所属学会〉日本漢字学会、東南アジア学会、日本中国語学会、言語の類型的特徴をとらえる対照研究会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・清水政明 (2020)「ベトナム語医療通訳のための基礎知識」、『医療通訳 4.0』、連利博・吉富志津代(編)、松柏社、pp.121-129.

〈論文〉

- ・ Shimizu Masaaki (2020) Sino-Vietnamese initials reflected in the phonetic components of 15th-century Nôm characters, *Journal of Chinese Writing Systems*, Vol. 4 (3), pp. 183-195.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 清水政明、「チュノムの話 (ベトナム)」、東大生向けセミナー『東亜諸言語・文字研究の可能性』第1回「漢字系文字への招待」、2021年3月6日、東京大学オンラインセミナー。
- ・ Shimizu Masaaki, *The Diversity of Vietnamese Nôm Characters in Two Medieval Vietnamese Sutras*, Colloquium on Literacies across East Asia, 30 October, 2020, online workshop (Columbia University).
- ・ Shimizu Masaaki, Minegishi Makoto, *Stop Series in Austroasiatic*, アジア・アフリカ地理言語学研究 2020 年度第1回研究会、2020年10月10日、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
- ・ 清水政明、「ベトナム語の情報構造に関わるいくつかの現象」、言語の類型的特徴をとらえる対照研究会第13回オンライン発表会、2020年8月2日、言語の類型的特徴をとらえる対照研究会。

〈研究助成〉

- ・ 科研費基盤研究 B「ベトナム東北部諸言語に見られる借用漢語音の研究」(研究課題番号:17H04522)

代表者：東京大学 吉川雅之) 分担者

- ・慶応義塾大学言語文化研究所共同研究「字喃 (チュノム) 資料研究会」兼任所員
- ・慶応義塾大学言語文化研究所共同研究「東南アジア諸言語研究会」兼任所員

[その他の活動]

〈学会活動〉東南アジア学会理事、日本漢字学会理事、言語の類型的特点をとらえる対照研究会理事
〈社会貢献活動〉 Journal of Viet Nam Hoc (Editor), Nom Preservation Foundation (Advisory Council)

ファン・ティ・ミィ・ロアン (Phan Thị Mỹ Loan) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語構造論 XIII A/B、世界の言語事情

〈共通教育担当科目〉東南アジア言語講義 a/b、特別外国語演習 (ベトナム語) I

〈学部教育担当科目〉ベトナム語 1、ベトナム語 11、ベトナム文学演習 a/b、ベトナム文化講義 a/b

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語とベトナム語の両言語で使われる熟語の意味・用法にある異同の考察

〈所属学会〉日本言語学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・『日越介護用語集』(共著、ベトナム語校閲)、大阪大学大学院言語文化研究科、2021年3月
〈論文〉

- ・“Tình hình biên soạn từ điển Việt-Nhật, Nhật-Việt tại Nhật Bản những năm gần đây”, pp.302-312
(ベトナム百科書辞典学院2020年学会紀要、2020年10月)

〈研究助成〉

- ・大阪大学大学院言語文化研究科 2020 年度研究推進経費による研究成果刊行助成

近藤 美佳 (KONDO Mika) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化資源論 X、アジア・アフリカ言語構造論特別研究

〈共通教育担当科目〉ちがいをたのしむ

〈学部教育担当科目〉ベトナム語 5、ベトナム語 14、ベトナム語 IV、ベトナム語学講義、東南アジア社会文化演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉在日ベトナム人子弟への母語・母文化継承、ベトナム語教育

〈所属学会〉母語・継承語・バイリンガル教育学会

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「在日ベトナム人年少者のための継承ベトナム語カリキュラム実践の試み」、リンディフォーラム：

日本におけるベトナム語研究の今／第1回ベトナム語研究会、2021年1月23日

〈研究助成〉

- ・「公立小学校における外国ルーツの子どもの支援教室活動を学校全体と共有する取り組み（課題番号：20K21984）」、日本学術振興会科学研究費助成事業研究活動スタート支援、2020年9月-2022年3月

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉

- ・「外国にルーツを持つ子どもたちが母語・継承語とよりよく向き合うために」、大阪府教育庁令和2年度教育サポーター育成研修、2020年11月25日

Nguyen Thi Ngoc Tho, 特任講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ベトナム語特別演習A、ベトナム語特別演習B、アジア言語文化表象論 VA、アジア言語文化表象論 VB

〈学部教育担当科目〉ベトナム語3、ベトナム語15、ベトナム語Ia、ベトナム語Ib、ベトナム語IIa、ベトナム語IIb、ベトナム語IIIa、ベトナム語IIIb、ベトナム語Va(B)、ベトナム語Vb(B)、ベトナム文学講義 a、ベトナム文学講義 b

[研究活動]

〈研究テーマ〉ベトナム語教育法

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉国際ベトナム語能力試験実施に協力

[ビルマ語]

池田 一人 (IKEDA Kazuto) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化表象論 VI A・B、アジア・アフリカ文化表象論特別研究 A・B、グローバル地域研究方法論 A、グローバル地域社会論 A・B、グローバル地域研究演習 A・B、歴史学方法論講義 A・B

〈共通教育担当科目〉アジアの文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉ビルマ語5、ビルマ語15、ビルマ社会講義 Ia・b、ビルマ社会演習 Ia・b、東南アジア地域研究概論 a・b、東南アジア社会概論 a・b、言語文化比較交流論 A・B

[研究活動]

〈研究テーマ〉ビルマ史、19世紀ビルマの民族形成史、ビルマ地域の史観研究、ラカイン地域史

〈所属学会〉東南アジア学会、Association for Asian Studies、史学会、高大連携歴史教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「クーデターとミャンマー民政 10 年—「軍政 vs 民主化勢力」の復活?—」『アジア太平洋論叢』 23 号、pp.21-32、2021 年 3 月
〈口頭発表・講演・学会報告〉
 - ・「エーチャン監督作『父を想う』コメント」京都大学東南アジア地域研究研究所 Visual Documentary Project 2020 京都上映会（オンライン）（於オンライン開催、2020 年 12 月 12 日）
 - ・「ラカイン地方の 500 年史とイスラーム—歴史の概略、研究史、史資料—」科研基盤研究 (B) 『東南アジア大陸部におけるイスラーム受容と社会関係の歴史像構築のための基盤研究』（研究代表者：池田一人）第 1 回研究会（於オンライン開催、2020 年 8 月 25 日）
 - ・「最終報告：スラーム受容体としての東南アジア：上座部仏教社会におけるムスリム共生の歴史学的・人類学的研究」京都大学東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点プロジェクト令和 2 年度成果報告会（於オンライン開催、2021 年 2 月 17 日）
〈研究助成〉
 - ・科研費基盤研究 (B) 「東南アジア大陸部におけるイスラーム受容と社会関係の歴史像構築のための基盤研究」（研究代表者：池田一人、課題番号：20H01325、2020～2023 年度）
 - ・京都大学東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点」タイプ IV 「イスラーム受容体としての東南アジア：上座部仏教社会におけるムスリム共生の歴史学的・人類学的研究」（研究代表者：池田一人、2019～2020 年度）
 - ・科研費基盤研究 (A) 「ゾミア 2.0：『東南アジア』と『南アジア』の境域における開発・民族・宗教」（研究代表者：今村真央、課題番号：18H03599、2018～2022 年度）研究分担者
 - ・科研費基盤研究 (B) 「声の実践によるテキスト共同体—東南アジア大陸部の仏教写本をめぐる宗教実践」（研究代表者：村上忠良、課題番号：19H04351、2019～2022 年度）研究分担者
- [その他の活動]
- 〈管理運営〉教務委員会委員、図書委員会委員
 - 〈学会活動〉東南アジア学会編集担当理事、アジア太平洋論叢編集委員

井上 さゆり (INOUE Sayuri) 准教授

<https://inoues.myportfolio.com/>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化表象論 X VIII A、アジア言語文化表象論 X VIII B、アジア・アフリカ文化表象論特別研究 A、アジア・アフリカ文化表象論特別研究 B、現代超域文化論（リレー講義）

〈共通教育担当科目〉特別外国語演習（ビルマ語）

〈学部教育担当科目〉ビルマ語 1、ビルマ語 2、ビルマ語 11、ビルマ文化演習 Ia、ビルマ文化演習 Ib、ビルマ文学講義 Ia、ビルマ文学講義 Ib、世界文学・文化論講義（リレー講義）

[研究活動]

〈研究テーマ〉ビルマ古典音楽、ビルマ音楽史、ビルマ古典文学

〈所属学会〉 東南アジア学会、東洋音楽学会、日本口承文芸学会、Burma Studies Group、The Society for Ethnomusicology、International Council for Traditional Music

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

〈研究助成〉

- ・科学研究費助成事業（科研費）基盤研究（C）「ビルマ古典歌謡における口頭伝承システムと口唱歌の記述研究」平成 30～32 年度 研究代表者

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉

（講演）「ミャンマー古典音楽の現在」、阪大外国語学部×みのお市民活動センター「マンスリー多文化サロン」（2021 年 2 月 18 日）

大塚 行誠 (OTSUKA Kosei) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語構造論 VII (A, B)、アジア言語構造論 XIV (A, B)、アジア・アフリカ言語構造論特別研究 (A, B)、世界の言語（リレー講義）

〈共通教育担当科目〉 学問への扉（記述言語学事始め）

〈学部教育担当科目〉 ビルマ語 3、ビルマ語 1 2、ビルマ語II(a, b)、ビルマ語学演習I(a, b)、ビルマ語学演習II (a, b)、東南アジア地域概論（リレー講義）

[研究活動]

〈研究テーマ〉 クキ・チン系言語およびミャンマーで話されている諸言語の研究

〈所属学会〉 日本言語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・大塚行誠 (2020) 「ティディム・チン語の名詞修飾表現」 プラシヤント・パルデシ、堀江薫（編）『日本語と世界の言語の名詞修飾表現』 303—322. 東京：ひつじ書房.
- ・大塚行誠 (2020) 「ラルテー語の音韻とクキ・チン祖語」『ありあけ：熊本大学言語学論集』 21—38.

〈研究助成〉

- ・若手研究(B) 「インド北東部におけるボム語の調査と文法記述」（研究代表者：大塚行誠、課題番号：17K13442、2017 年度～2020 年度）
- ・基盤研究(B) 「ビルマの少数民族言語に関する類型的・系統的俯瞰像の構築」（研究代表者：澤田英夫、課題番号：20H01256、2020 年度～2024 年度）
- ・科研費基盤研究(A) 「ゾミア 2.0 : 「東南アジア」と「南アジア」の境域における開発・民族・宗教」（研究代表者：今村真央、課題番号：18H03599、2018～2022 年度）

[その他の活動]

〈管理運営〉 紀要編集委員、入試委員会、ビルマ語部会主任、ビルマ語専攻学科目代表

テッテッ (Htet Htet) 特任准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ビルマ語特別演習 A,B、アジア言語文化表象論 VIIA,B

〈学部教育担当科目〉ビルマ文学演習 Ia,b、ビルマ語 13、ビルマ語 14、ビルマ語 4 (豊中開講)、ビルマ語 IVa,b、ビルマ語 Ia,b、ビルマ語学講義Ia,b

[研究活動]

〈研究テーマ〉ビルマ語学、ビルマ語教育

[研究業績]

〈研究ノート〉

- ・ Htet Htet (2021) တိရစ္ဆာန်အမည်နှင့် မြန်မာမှုဝေါဟာရများ: [ミャンマーの町や村, 地域における地名の命名法] 大阪大学大学院言語文化研究科『外国語教育のフロンティア』4.

【アジア III 講座】

[ヒンディー語]

長崎 広子 (NAGASAKI Hiroko) 准教授

<http://hin.minoh.osaka-u.ac.jp/>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化資源論 III、現代超域文化論 (リレー講義)

〈共通教育担当科目〉特別外国語演習 (ヒンディー語 1)

〈学部教育担当科目〉ヒンディー語 4、ヒンディー語 13、ヒンディー語 III、ヒンディー文学演習 III、インド文化史講義 I、世界文学・文化論 (リレー講義)

[研究活動]

〈研究テーマ〉

- ・ 中世ヒンディー文学研究、ヒンドゥー教バクティ思想研究、ヒンディー韻律研究

〈所属学会〉日本印度学仏教学会、日本南アジア学会、American Oriental Society (米国)

[研究業績]

〈翻訳・翻訳書〉

- ・ 「シロ リス太郎」, 『印度民俗研究』別巻 6, pp.29-37, 2020

〈書評・論評・紹介〉

- ・ 「古ヒンディー文学研究合宿」, 『生産と技術』第 72 巻 3 号, pp. 76-78, 2020

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ ओसाका विश्वविद्यालय में हिंदी अध्ययन और अध्यापन की परंपरा, インド大使館, 東京 (オンライン講演)

〈研究助成〉

- ・ 15-6 世紀ヒンディー語 3 文芸方言の作品と言語の横断的研究 (科学研究費補助金基盤研究 (C))

2019.4.1-2022.3.31 ; 研究代表者)

[その他の活動]

〈管理運営〉大学院言語文化研究科言語社会専攻教務委員、外国語学部教務委員会委員、ヒンディー語専攻学科目代表、協定校コンタクト・パーソン (ジャワーハルルール・ネルー大学)

〈学会活動〉 Braj Bhasha/ early Hindi Workshop Committee member、

International Conference on Early Modern Literatures of North India Committee member

〈セミナー開催〉「Pegah Shahbaz 博士講演会」 “Punjabi Narratives in Persian Literary Culture: The Case of *Heer Ranjha*”, 2020年8月21日, 大阪大学中之島センター

西岡 美樹 (NISHIOKA Miki) 准教授

<http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/user/dumas/>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語構造論 XV (a/b)

〈共通教育担当科目〉ことばの学問入門

〈学部教育担当科目〉ヒンディー語 3、ヒンディー語 11、ヒンディー語学演習 I (a/b)、ヒンディー語学演習 II (a/b)、南アジア語学演習 I (a/b)

[研究活動]

〈研究テーマ〉ヒンディー語と日本語の対照研究、ヒンディー語の周辺諸語との類型論的比較研究、ヒンディー語ウェブコーパス (TreeBank) と検索システムの開発

〈所属学会〉日本言語学会、言語科学会、日本南アジア学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・「ヒンディー語の名詞修飾構造と機能について—体言化理論からの考察—」、西岡美樹、Rajesh Kumar (共著)、鄭聖汝、柴谷方良 (編) 『体言化理論と言語分析』、大阪大学出版会、2021年、59-151ページ。
- ・Conflicting Patterns of Agreement in Hindi-Urdu: A Case Study Focusing on Eastern Part of Hindi-Urdu Belt, Miki Nishioka, *Alternative Horizons in Linguistics: In Tariq Khan (ed.), Alternative Horizons in Linguistics: A Festschrift in Honour of Prof. Panchanan Mohanty*, pp. 182-196. München: LINCOM GmbH, 2020.
- ・「伝統文法から見たヒンディー語の名詞修飾—語彙的体言化に焦点を当てて—」、西岡美樹、Prashant Pardeshi、堀江薫 (編) 『日本語と世界の言語の名詞修飾表現』、ひつじ書房、2020年、391-411ページ。

〈書評・論評・紹介〉

- ・「Bookwidgetsを使ったオンライン小テストの作成と実施」、西岡美樹、『cybermeida forum』No. 21、大阪大学サイバーメディアセンター、2020年、15-19ページ。

〈研究助成〉

- ・日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 「ツリーバンクを利用したヒンディー語と日本

語のとりたて詞の機能の対照研究」

〈調査活動〉

- ・ ヒンディー語方言、ヒンディー語姉妹語調査（インド：オンライン）

[その他の活動]

〈管理運営〉 言語文化研究科言語社会専攻・外国語学部安全衛生委員、外国語学部入試委員会委員、
Editorial board member (National Translation Mission - Central Institute of Indian Languages)

〈社会貢献活動〉 [大阪大学の市民講座 2020 Online!] ～複言語学習のススメ～（ヒンディー語、タミル語）、オンライン・チームティーチング (Integrated Co-Teaching Classes for JF2 and M.A. Japanese with Dr. Narsimhan - the Department of East Asian Studies at University of Delhi)

拓 徹 (TAK Toru) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語社会動態論Ⅳ、グローバル地域研究演習

〈共通教育担当科目〉 アジア言語文化研究入門

〈学部教育担当科目〉 ヒンディー語 4、ヒンディー語 12、南アジア文化概論 B、南アジア文化演習Ⅲ、南アジア歴史演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 カシミール近現代史

〈所属学会〉 日本南アジア学会、日本宗教学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ 拓徹「カシミール文学：歌い継がれたレガシー」、栗屋利江・太田信宏・水野善文（編）『言語別南アジア文学ガイドブック』（東京外国語大学拠点 南アジア研究センター、2021.3）、169-179.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ Toru TAK, 'Two Medieval Saint-Poets and Kashmiriyat: Kashmiri Nationalism and Its Appropriation of History', 2nd Seminar of Kaken Project *Cultural Politics on Secularism and Islam: The Case of Kashmir*, Grant-in-Aid for Scientific Research (C), March 27, 2021 (conducted through Zoom).

〈研究助成〉

- ・ 科研 基盤研究(C)「セキュラリズムをめぐる文化の政治とイスラーム：カシミールの事例から」（研究代表者）（課題番号：19K00079）（継続中）

[その他の活動]

〈管理運営〉 国際交流委員

Singh Ved Prakash, Specially Appointed Lecturer

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Special Seminar In Hindi A, Asian Languages and Cultural Representations XA

<Foreign language classes> Hindi 5, Hindi 14, Hindi 15, Hindi I, Hindi language III, Hindi Literature II, Culture of South Asia 3

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Modern Hindi Prose and Poetry, Gandhism, Indian Freedom Movement, Travelogues

<Academic society memberships> None

〔ウルドゥー語〕

松村 耕光 (MATSUMURA Takamitsu) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化表象論

〈学部教育担当科目〉 ウルドゥー語実習、ウルドゥー文学演習、ウルドゥー語学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 近代ウルドゥー文学

〈所属学会〉 日本南アジア学会、日本印度学佛教学会

[研究業績]

〈論文〉

・「シブリーのアラビア詩・ペルシア詩比較論」、『言語文化研究』47号、89-100頁、2021

〈翻訳〉

・「ヒマラヤの山並み」、『印度民俗研究』別巻6、3-7頁、2020

・「詩集『鈴の音』より (1) —イクバルのウルドゥー詩 (14) —」、『イスラーム世界研究』14巻、337-346頁、2021

〈研究助成〉

・「詩人・思想家ムハンマド・イクバルの初期詩作品に関する研究」科研基盤研究 (C)

[その他の活動]

〈管理運営〉 言語文化研究科言語社会専攻アジア III 講座代表、ウルドゥー語部会主任

〈社会貢献活動〉 南アジア研究会 (関西) 世話役

山根 聡 (YAMANE So) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語社会動態論IIIa,b

〈共通教育担当科目〉 ウルドゥー語

〈学部教育担当科目〉 ウルドゥー語 2、ウルドゥー語 12、南アジア文化概論 a,b、ウルドゥー語IIIa,b
南アジア文化演習Ia,b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ウルドゥー文学、南アジア・イスラーム論

〈所属学会〉日本南アジア学会、大阪大学言語社会学会、アジア政経学会、西南アジア研究会、日本印度学仏教学会、日本オリエント学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・「パキスタン」『データブック世界の放送』NHK 出版、2021 年 3 月

〈論文〉

- ・「新型コロナ禍におけるパキスタン情勢から見えるもの」『国際情勢』91 号、pp.171-179、2021 年 3 月
- ・「会話文によるウルドゥー語初級文法の段階的学習について」『外国語教育のフロンティア』4 号、pp.183-195、2021 年 3 月
- ・「18 世紀パンジャブのスーフィー詩人ブッレー・シャー(Bulleh Shah)の詩に見られる共生」『イスラームの多文化共生の知恵—周縁イスラーム世界のスーフィズムに着目して』、京都大学ケナン・リファーマー・スーフィズム研究センター、pp.49-81、2021 年 3 月

〈翻訳・翻訳書〉

- ・「ジャーヴェード・イクバル『詩人ムハンマド・イクバルのラーホールでの学生時代』」『印度民俗研究』6 巻、pp.8-18.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「世界的病原菌の感染と文学」(ウルドゥー語)、国際ウルドゥー文学会議 (オンライン)、パキスタン国立国語研究所、2020 年 8 月 13 日
- ・「日本におけるウルドゥー語教育の歴史と展開」(ウルドゥー語)、国際ウルドゥー語会議、パキスタン国立国語研究所、2020 年 8 月 14 日
- ・「18 世紀」、スーフィズム共生研究会 (オンライン)、京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科、2020 年 9 月 16 日
- ・「Reshaping the Past: Writings of the Muslim Literati in the Late Nineteenth Century」(オンライン)、“The TINDAS 5th Seminar in 2020: Gastronomy and State in Early Modern and Modern South Asia”、東京大学、2020 年 10 月 9 日
- ・「新型コロナウイルス禍におけるパキスタン—社会的公正を掲げる政権と現実」中東情勢研究会、(社)国際情勢調査会、2020 年 11 月 20 日
- ・「ムハンマド・イクバルとウルドゥー語」(ウルドゥー語)、国際ウルドゥー語会議 (オンライン)、パキスタン国立国語研究所、2020 年 11 月 7 日
- ・「越境的コネクティビティが導く思想の翻訳」、イスラーム信頼学キックオフ・シンポジウム (オンライン)、東京外国語大学、2021 年 3 月 5 日

〈研究助成〉

- ・研究代表者 学術変革領域研究 (A)「思想と戦略が織りなす信頼構築」
- ・研究分担者 学術変革領域研究 (A)「イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築：世界の分断を乗り越える戦略知の創造」(研究代表者 黒木英充)

- ・研究分担者 基盤研究(A)「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」(研究代表：小杉泰)
- ・研究分担者 基盤研究(A)「現代南アジアにおけるムスリム社会の」多極化の動向—テロとツーリズム」(研究代表者 外川昌彦)
- ・研究分担者 基盤研究(B)「東南アジア大陸部におけるイスラーム受容と社会関係の歴史像構築のための基盤研究」(研究代表者 池田一人)
- ・研究分担者 基盤研究(B)「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」(研究代表者：菅原由美)
- ・研究分担者 基盤研究(B)「暴力による民主主義の20世紀：トランスナショナルヒストリーの試み」(研究代表者：長縄宣博)
- ・研究分担者 基盤研究(B)「ムスリム女性移住労働者の国際移動とオートノミーに関する比較実証研究」(研究代表者：中西久枝)

[その他の活動]

〈管理運営〉 副研究科長

〈学会活動〉 日本南アジア学会理事

〈社会貢献活動〉

- ・ 松下幸之助財団国際スカラシップ審査委員長
- ・「南アジアの食文化に見る宗教アイデンティティ」『兵庫県阪神シニアカレッジ』阪神シニアカレッジ、2020年12月11日
- ・「東西文化の交流に見る南アジア」『兵庫県阪神シニアカレッジ』阪神シニアカレッジ、2021年2月16日
- ・「四億の少数派—南アジアのイスラーム」『兵庫県阪神シニアカレッジ』阪神シニアカレッジ、2021年2月16日
- ・「新型コロナ禍のパキスタンから見えるもの」『宝塚国際理解セミナー』宝塚市南口会館、2021年2月18日

北田 信 (KITADA Makoto) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 前年度と同じ

〈共通教育担当科目〉 前年度と同じ

〈学部教育担当科目〉 前年度と同じ

〈研究テーマ〉 ダカニー・ウルドゥー文学、ベンガル文学、ネパール文学

〈所属学会〉 日本南アジア学会、日本インド学仏教学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ “Traditional Theater in Nepal. An Exposition of Kārtik Nāc, the Drama Festival in Pharping Village, with an

Edition of Pārijātaḥaraṇa.” In: *Wege durchs Labyrinth. Festschrift zu Ehren von Rahul Peter Das*. Heidelberg/Berlin: CrossAsia-eBooks, 2020: 215-254.

<<https://doi.org/10.11588/xabooks.642>>

- ・「ネパールの演劇写本 ジャガトプラカーシャ・マッラ王のネワール語歌集(3)」『南アジア古典学 15』九州大学インド哲学研究室 2020: 35 – 44
 - ・「ネパールの伝統芸能に関する民族学的考察 カトマンドゥ盆地山村のカルティク・ナーチ演劇祭」『南アジア古典学 15』九州大学インド哲学研究室 2020: 45-54
 - ・「シレティ語のアイデンティティ：ベンガル語の方言か？」『言語文化研究 (47)』大阪大学言語文化研究科 2021: 241-258
 - ・「ジャーナリズムの修辞学～バングラデシュの新聞記事分析」『外国語教育のフロンティア (4)』大阪大学言語文化研究科 2021
 - ・“Jagatprakāśa Malla’s songs in Newar language: Report on the study of the court theater of the Malla dynasty” OUKA 研究成果報告書 2020 (全 13 頁) <<http://hdl.handle.net/11094/73756>>
 - ・“The drama Vidyāvinoda by poet Śrīdhara found in Nepal: Probably the earliest Bengali version of the Vidyāsundara story” OUKA 研究成果報告書 2021 (全 8 頁) <<http://hdl.handle.net/11094/78806>>
 - ・“Baṛu Caṇḍīdās verses found in the NGMPP manuscript B287/2: A revised version of my two previous articles” OUKA 研究成果報告書 2021 (全 34 頁) <<http://hdl.handle.net/11094/77726>>
 - ・“NGMPP No. G 129/4. Another version of Śrīdhara’s Vidyāsundara play from Nepal. Part I” OUKA 研究成果報告書 2021 (全 54 頁) <<http://hdl.handle.net/11094/79019>>
 - ・“NGMPP No. G 129/4. Another version of Śrīdhara’s Vidyāsundara play from Nepal. Part II” OUKA 研究成果報告書 (全 42 頁) <<http://hdl.handle.net/11094/79019>>
 - ・“NGMPP No. G 129/4. Another version of Śrīdhara’s Vidyāsundara play from Nepal. Part III” OUKA 研究成果報告書 2021 (全 23 頁) <<http://hdl.handle.net/11094/79019>>
 - ・“Second Finding of Baṛu Caṇḍīdās in Nepal” OUKA 研究成果報告書 2021 (全 18 頁) <<http://hdl.handle.net/11094/79124>>
- <口頭発表・講演・学会報告>
- ・“The Body of the Musician.” Guest artist and speaker in: Online Program “Yogasangeetam. To explore and experience synergy between yoga and music.” Swami Vivekananda Cultural Centre at the Consulate General of India, Durban (South Africa). 北インド古典音楽演奏と講演 2020年6月9日
- <研究助成>
- ・科学研究費補助金基盤 (C) 「ネパールの演劇文化の研究 地方文化の創生」
- <調査活動>
- ・シカゴ大主催のオンライン研究会 Middle Bengali Reading Meeting (3月) に参加
- [その他の活動]
- <学会活動> 南アジア学会英文誌編集委員

マルグループ・フサイン・ターヒル (TAHIR, Marghoob Hussain) 特任准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化表象論 XII、ウルドゥー語特別演習

〈学部教育担当科目〉ウルドゥー語 4、ウルドゥー語 5、ウルドゥー語 14、ウルドゥー語 15、ウルドゥー語 I、ウルドゥー語 II、ウルドゥー文学演習 II、ウルドゥー文学演習 V

[研究活動]

〈研究テーマ〉ウルドゥー語文学

【アジア・アフリカ講座】

[アラビア語]

近藤 久美子 (KONDO Kumiko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化資源論 VIII、地域知識論特定研究 II

〈共通教育担当科目〉国際教養科目(中東の文化と社会を知る)

〈学部教育担当科目〉アラブ文学講義、アラブ文学特別演習、アラビア語演習 VIII、アラビア語 14、アラビア語 2、地域知識論 II

[研究活動]

〈研究テーマ〉アラブ古典文学、アラビア語文法、アラブ民俗文化

〈所属学会〉日本中東学会、説話・伝承学会、日本昔話学会、東アジア恠異学会、世界文学会

依田 純和 (YODA Sumikazu) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語文化資源論、アジア・アフリカ言語社会研究序説

〈共通教育担当科目〉中東の社会と文化を知る

〈学部教育担当科目〉アラビア語 3、アラビア語 1 2 (実習)、アラビア語初級 (兼修外国語)、アラビア語学特別演習、マルタ語 (研究外国語)、ヘブライ語 (研究外国語)

[研究活動]

〈研究テーマ〉アラビア語方言論、セム語諸語研究、マルタ語学

〈所属学会〉日本中東学会、International Association of Maltese Linguistics、Association Internationale de Dialectologie Arabe、関西アラブ研究会

[研究業績]

〈単著・共著〉

・『アラビア語』大阪大学外国語学部 世界の言語シリーズ 1 7 (大阪大学出版会 2020)

〈論文〉

・“An obsdrvation on the *hāl* construction in Maltese” in *Maltese Linsuigtics on the Danube* S. Čéplö and J.

Drobný eds. (de Gruyter Berlin, Boston, 2020) 92-110.

[その他の活動]

〈管理運営〉 図書委員会委員長

〈学会活動〉 関西アラブ研究会世話役

福田 義昭 (FUKUDA Yoshiaki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化表象論XIII、世界文学・文化論

〈学部教育担当科目〉 アラビア語 1、アラビア語 2、アラビア語 11、アラブ文学特別演習I、アラブ文学特別演習IIb、アラビア語演習VII、現代超域文化論 (M)

[研究活動]

〈研究テーマ〉 アラビア語、アラブ文学、日本・中東イスラム関係史

〈所属学会〉 日本中東学会、日本オリエント学会、関西アラブ研究会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ (共著 [事典項目]) 「現代アラブ文学」 「〈コラム〉 ナギーブ・マフフーズ」 鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸 (編集代表) 『中東・オリエント文化事典』 丸善出版 (2020年11月)

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 「国歌に見るアラブ諸国のナショナル・アイデンティティ」 〈政治と音楽〉 研究会 (オンライン、2020年11月8日)

〈研究助成〉

- ・ 基盤研究 (C) 「近現代アラブ文学における地理的世界表象に関する基礎研究」 2019-23年度 (研究代表者)

[その他の活動]

〈管理運営〉

〈学会活動〉 日本中東学会年報 (AJAMES) 編集委員

〈社会貢献活動〉

- ・ (出張講義) 「神戸とイスラーム—異文化を学んで文脈をひろげよう」 (兵庫県立兵庫高等学校、2020年12月22日)

仲尾 周一郎 (NAKAO Shuichiro) 講師

<https://researchmap.jp/shuichiro.nakao/>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化資源論 V

〈共通教育担当科目〉

〈学部教育担当科目〉 アラビア語 3、アラビア語 4、アラビア語 14、アラビア語演習 IV、アラブ文化

論特別演習、アラビア語中級

[研究活動]

〈研究テーマ〉 記述言語学、言語接触論、東アフリカ多言語社会研究、アラビア語応用言語学

〈所属学会〉 日本アフリカ学会、日本ナイル・エチオピア学会、Association internationale de dialectologie arabe、World Congress of African Linguistics、関西アラブ研究会、The Japan Association for Ethiopian Linguistics

[研究業績]

〈論文〉

- “Convivial multilingualism as a modern African ethos: Cases of East African non-Arab Arabophone societies” in Keiko Takemura & Francis Nyamnjoh (eds.) *Dynamism in African Languages and Literature: Towards Conceptualisation of African Potentials*. Bamenda: Langaa RPCIG. 19-45, 2021.
- 「ジュバ・アラビア語におけるトーンのみふるまい」 梶茂樹 (編) 『アフリカ諸語の声調・アクセント』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 67-90, 2021.
- 「アラビア語「発音」教育に寄せて」 『外国語教育のフロンティア』 4: 297-312, 2021.

〈書評・論評・紹介〉

- “Review: Arabi Juba: Un pidgin-creole du Soudan du Sud. Stefano Manfredi. Paris: Peeters. 2017. Pp. x+227. Paperback €28.00.” *Journal of Pidgin and Creole Languages* 35 (1): 180-183, 2020.
- “BOOK REVIEW: Takeda, Toshiyuki, *Gendai Arabiigo no Hatten to Arabu Bunka no Shin-jidai: Wangan-shokoku, Ejjiputo kara Mōritania made* [Development of Modern Arabic and the New Era of Arab Culture: From the Gulf states, Egypt, up to Mauritania] (Kyoto: Nakanishiya Shuppan, 2019). 366p.” 『アラブ・イスラム研究』 18: 137-140, 2020.
- 「都市言語の中のスラング」 横浜国立大学都市科学部 (編) 『都市科学事典』 春風社. 896-897, 2021.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- 「アラビア語「発音」教育に寄せて」 第 39 回 関西アラブ研究会, 大阪大学, 箕面, 2020 年 9 月 26 日.
- “Stop Series in Nilo-Saharan”, the first meeting of the academic year 2020, Joint research project on “Studies in Asian and African Geolinguistics”, ILCAA, online, October 10, 2020.
- 「単言語主義言語学を乗り越えるために: 双言語記述のすすめ」 フィールド言語学ワークショップ: 第 19 回文法研究ワークショップ「言語接触の諸問題」 オンライン (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所), 2021 年 3 月 7 日.
- “Grammatical Relations in Nilo-Saharan”, the second meeting of the academic year 2020, Joint research project on “Studies in Asian and African Geolinguistics”, ILCAA, online, March 29, 2021.

〈研究助成〉

- 国際共同研究強化(B) (研究課題番号: 18KK0009、研究代表者: 乾秀行) 「エチオピア諸語の記述とドキュメンテーション: ソーシャル・イノベーションにむけて」 (2018-2022) 分担者
- 基盤研究(B) (研究課題番号: 19H01254、研究代表者: 小森淳子) 「アフリカ諸言語における受動態

の形態統語に関する類型論的比較・対照研究」(2019-2022) 分担者

- ・若手研究(研究課題番号:19K13160、研究代表者:仲尾周一郎)「語彙調査によるアラビア語クレオール」の「脱クレオール化」の解明:接触言語学への視座」(2019-2022) 代表者

〈調査活動〉

- ・大阪府豊中市内(2020年8月-11月に断続的にアラビア語クレオールおよびバリ語に関する言語調査)

[その他の活動]

〈管理運営〉 図書委員会、研究・広報・社会貢献委員会、アラビア語部会主任

〈学会活動〉 『アラブ・イスラム研究』(関西アラブ研究会) 編集委員(査読1件)、 『京都大学言語学研究』編集委員、 *Studies in Ethiopian Languages* (Japan Association for Ethiopian Linguistics) 編集委員、 *Romano-Arabica* 編集委員、海外学術書査読2件、国内学術書査読2件

〈社会貢献活動〉 マンスリー多文化サロン運営

Abdelrahman Tareq Sadeq Elsharqawy, Specially Appointed Associate Professor

[Teaching activities]

<Graduate School classes>

<General Education classes>Arabic Islamic Culture

<Foreign language classes>Arabic language classes standard and dialects, Arabic classes for students from other specialities.

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Arabic Literature, Comparative Literature, Translation Studies.

<Academic society memberships> James, Kansai Society for Arabic and Islamic Studies

[Research achievements]

<Papers>

- ・ “Redefining the role of Al-Tahtāwī during his Trip to France: ‘Imām or Student’”, *Studies in Language and Culture*, 47. pp.197-214, 2021
- ・ “Studying Arabic in Morocco”, *Frontier of Foreign Language Education*, 4, pp.313-319, 2021

[Other activities]

<Social activities> Writing a short note about Studying Arabic in Morocco.

[ペルシア語]

藤元 優子 (FUJIMOTO Yuko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化表象論 XV A/B、アジア・アフリカ文化表象論特別研究 A/B

〈共通教育担当科目〉 中東の文化と社会を知る a

〈学部教育担当科目〉 ペルシア語 2、ペルシア語 12、ペルシア文学講義 a/b、ペルシア文学演習 a/b、

ペルシア語Ⅴa/b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 イラン現代文学とジェンダー

〈所属学会〉 日本中東学会、日本オリエント学会、北米イラン学会

[研究業績]

〈共著〉

・「現代イラン文学」鈴木ほか編『中東・オリエント文化事典』丸善, 2020, 400-401.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・「帽子とヘジャーブ：両大戦間の服装の国家規制」イラン研究会（2021.3.27. 於：国立民族学博物館）

〈翻訳・翻訳書〉

・「ファリーバー・ファヴィー著『私の鳥』（後編）」『イラン研究』17, 2021.1., 157-202.

〈研究助成〉

・科学研究費基盤研究（C）「1980年代から2000年代のイランにおける女性小説の研究」（研究代表者）

[その他の活動]

〈管理運営〉 外国学図書館副館長

竹原 新 (TAKEHARA Shin) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化資源論ⅥA、アジア言語文化資源論ⅥB

〈共通教育担当科目〉 中東の文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉 ペルシア語Ⅲ、ペルシア語ⅠⅢ、ペルシア語Ⅲa、ペルシア語Ⅲb、イラン文化特別演習 a、イラン文化特別演習 b、イラン文化講義 a、イラン文化講義 b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 イランの民話と俗信に関する研究

〈所属学会〉 日本オリエント学会、説話・伝承学会、日本昔話学会、大阪大学言語社会学 会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

・竹原新『現代イランの俗信』、大阪大学出版会、2020年。

〈論文〉

・竹原新「イランの怪談としての異界訪問譚」、『イラン研究』第17号、2021年、pp. 27-43.

[その他の活動]

〈管理運営〉 大学院言語文化研究科言語社会専攻／日本語・日本文化専攻ネットワーク運用管理委員会委員、大学院言語文化研究科言語社会専攻／日本語・日本文化専攻コンテンツ管理委員会委員

〈学会活動〉 説話・伝承学会委員、日本昔話学会委員

ジャヘドザデ・ショルブラグ・ベヘナム(JAHEDZADEH SHORBLAGH Behnam) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語構造論 XVI、世界の言語

〈共通教育担当科目〉 中東・アフリカ言語文化研究

〈学部教育担当科目〉 ペルシア語 1、ペルシア語 11、ペルシア語IV、イラン語学講義、ペルシア語学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ペルシア語学、対照言語学

〈所属学会〉 関西言語学会、イラン研究会、言語の類型的特徴をとらえる対照研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「イラン国内の食品店の看板に見られる「ハイパー」とその言語景観について」『イラン研究』第17号, pp.63-75. (2021年1月20日発行)
- ・「テヘラン大学と大阪大学におけるオンラインでの語学授業の実施とその課題について—筆者らの経験を中心に—」『外国語教育フロンティア』第4号, pp.59-70. (2021年3月30日発行)

〈口頭発表〉

- ・「日本語母語話者ペルシア語学習者の rā の習得の問題」第39回イラン研究会、2021年3月27日、28日、大阪国立民族学博物館で開催

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉

『箕面市民外国人防災アドバイザー』に認定 (2021年3月～)

REZAI BAGHBIDI Hassan, Specially Appointed Associate Professor

<https://researchmap.jp/HassanRezaiBaghbidi>

[Teaching activities]

<Graduate School classes>

<General Education classes>

<Foreign language classes>

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Historical Linguistics, Indo-European Studies, Iranian Studies, Persian Studies, Iranian Culture

<Academic society memberships> Permanent Member of the Academy of Persian Language and Literature, Member of the Supreme Council of the Centre for the Great Islamic Encyclopedia, Member of the International Association of Sanskrit Studies

[Research achievements]

<Books>

- *An Introduction to Sanskrit* (revised edition)
- *History of Iranian Languages* (revised edition)
- “The Name of Iran and Its Historical Background”, *A Comprehensive Geography of Iran*, 2020
- “The Languages and Dialects of Iran”, *A Comprehensive Geography of Iran*, 2020

<Papers>

- “Hargbed: A Sasanian Title Revisited”, *Journal of Iranian Studies*, 16, pp.65-77, 2020
- “A Preliminary Report on An Etymological Study of Selected Synonyms in Iranian Languages”, *Frontier of Foreign Language Education*, 4, pp.321-324, 2021

<Oral Presentations, Lectures, Reports in conference>

- “Ta’arof in Persian”
- “Mani and His Religion”

[トルコ語]

大澤 孝 (ŌSAWA Takashi) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語社会動態論、アジア・アフリカ言語文化論序論

〈共通教育担当科目〉国際教養科目

〈学部教育担当科目〉トルコ語 12a,b, トルコ語 IIa,b, トルコ語学概論 a,b, トルコ歴史講義 a,b, トルコ文化演習 a,b

[研究活動]

〈研究テーマ〉中央ユーラシアのテュルク系遊牧民の歴史と文化、古代テュルク語碑文と遺跡のフィールド調査

〈所属学会〉内陸アジア学会, 西南アジア研究学会, 北海道大学文学部東洋史談話会会員, 国際 Signum 学.

[研究業績]

〈研究助成〉

- 日本学術振興会科学研究費 国際共同研究加速基金 B (代表研究者; 平成 30~33 年度).

[その他の活動]

〈学会活動〉トルコ共和国トルコ語研究誌 3 誌の査読委員会委員, ロシア連邦ハカス共和国言語歴史文学研究所発行の国際研究雑誌「サヤン-アルタイ学報」の査読委員会委員

藤家 洋昭 (FUJIE Hiroaki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アジア言語構造論、ウイグル語、世界の言語

〈共通教育担当科目〉特別外国語演習 (トルコ語) I

〈学部教育担当科目〉 トルコ語 3、トルコ語 13、トルコ語 III、チュルク語学演習、トルコ語学演習、ウイグル語

[研究活動]

〈研究テーマ〉 チュルク諸語の記述言語学的研究

〈所属学会〉 言語処理学会、日本言語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「エスキシェヒル・カラチャイ語における「動詞+tur-」」『言語処理学会第27回年次大会発表論文集』574-578, 2021年3月
- ・「チュルク諸語における移動を表す動詞 (ket-(git-), bar-(var-)) の意味の違い」『外国語教育のフロンティア』4, 71-78, 2021年3月.
- ・「エスキシェヒル・カラチャイ語における動詞の名詞化」『外国語教育のフロンティア』4, 79-87, 2021年3月.

〈調査活動〉

- ・チュルク諸語の記述言語学的フィールド調査

[その他の活動]

〈管理運営〉 トルコ語学科目代表、トルコ語部会主任、設備・施設マネジメント委員、外国語学部評価委員

宮下 遼 (MIYASHITA Ryo) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アジア言語文化表象論

〈共通教育担当科目〉 マチカネゼミ (オスマン帝国史研究入門)

〈学部教育担当科目〉 トルコ語 1、トルコ語 Ia、トルコ文学講義、トルコ語 11、トルコ文学演習、グローバル地域研究方法論、世界文学・文化論

[研究活動]

〈研究テーマ〉 トルコ文学 (史)、トルコ社会史

〈所属学会〉 日本イスラム協会、世界文学学会、日本中東学会、地中海学会、日本オリエント学会

〈学会活動〉 言語社会学会理事

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・(単著) 宮下遼 『トルコ語』 大阪大学出版会, 2021.

〈書評・論評・紹介〉

- ・(書評) 「[文庫×世界文学 名著60] <20>歴史と社会 神の存在 感じる瞬間『わたしの名は赤』オルハン・パムク著」『読売新聞』 2021年2月28日.
- ・(書評) 宮下遼 『レイラの最後の10分38秒』エリフ・シャファク著: 雄弁な死者巡る強烈な人生

『日経新聞』 2020年11月7日.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・(研究発表)宮下遼「オルハン・パムク『無垢の博物館』における破滅と慰撫：イスタンブールの都市記憶と事物の愛の関連性について」世界文学会, 「崩壊と世界文学」第1回連続研究会, 於オンライン, 2021年12月12日.
- ・(講演)「アジア文学の誘い@チェッコリー第II回『赤い髪の女』」於チェッコリー(東京神保町), 倉本さおり, 長瀬海, 宮下遼, 2021年2月22日.
- ・(研究発表)「トルコ小説における父なし子：パムク『赤い髪の女』」中東現代文学研究会, 於京都大学, 2021年1月12日.
- ・(講演)宮下遼「文学的題材としてのトルコ史の諸相：トルコ歴史小説小史」中東現代文学研究会公開講演会, 於京都大学, 2021年1月11日.

〈研究助成〉

- ・サントリー財団学術助成金
- ・科学研究費助成(若手研究(B))(2017/4/1-2021/3/31)

[その他の活動]

- ・トルコ文学研究会(代表、2015-)

AKBAY Okan Haluk, Specially Appointed Lecturer

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Special Seminar in Turkish A, Special Seminar in Turkish B

<General Education classes>

<Foreign language classes> Turkish 2, Turkish 4, Turkish 5, Turkish 14, Turkish 15, Turkish IV a, Turkish IV b, Turkish VI a, Turkish VI b, Turkish VII a, Turkish VII b

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Linguistics, Foreign Language Education, Turkish Language Education

<Academic society memberships> Türkiye Yazarlar Birliği

[Research achievements]

<Books>

- ・ *Geleneksel Japon Yazınında Doğaüstüculük*, Literatürk Academia, Konya, 2020

<Papers>

- ・ Akbay, Okan Haluk. “Lotus Sutra’da Yer Alan Bazı Mesellerdeki Metaforik Anlatımlar Üzerine Bir İnceleme”. *Frontier of Foreign Language Education*. (4) 89-98, 2021
- ・ Hujjie Hiroaki ; Akbay, Okan Haluk. “Differences in the Meaning of Movement Verbs (ket-(git-), bar-(var-)) in the Turkic Languages”. *Frontier of Foreign Language Education*. (4) 71-78, 2021
- ・ Hujjie Hiroaki ; Akbay, Okan Haluk. “Nominalization of Verbs in Eskisehir-Karachay”. *Frontier of Foreign Language Education*. (4) 79-87, 2021

<Oral Presentations, Lectures, Reports in conference>

- ・ Hujjie Hiroaki ; Akbay, Okan Haluk. “Eskisehir Karachaygo Ni Okeru Dooshi + tur”, The Association for Natural Language Processing, 27th Annual Convention, NLP 2021

[スワヒリ語]

米田 信子 (YONEDA Nobuko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アフリカ言語構造論、アフリカ言語構造論特別研究

〈学部教育担当科目〉 スワヒリ語 3 (専攻語実習)、スワヒリ語 11 (専攻語実習)、スワヒリ語 IIIb (専攻語演習)、スワヒリ語文法演習 a, b、アフリカ言語学概説 a、アフリカ地域文化演習 IIIa, b、中級スワヒリ語 a, b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 バントゥ諸語の記述研究 (情報構造、主語と主題、マイクロヴァリエーション)

〈所属学会〉 日本言語学会、日本アフリカ学会、日本音声学会、日本文化人類学会、関西言語学会、国際バントゥ諸語学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ 『体言化理論と言語分析』 鄭聖汝・柴谷方良 (編) 大阪大学出版会. 2021. (総ページ 576、共著、担当「スワヒリ語における『関係節』と体言化」 pp. 429-458)
- ・ 『アフリカ諸語の声調・アクセント』 梶茂樹 (編) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 2021. (総ページ数 327、共著、担当「ヘレロ語の名詞の声調 (Bantu R31)」 pp.279-301)

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 「バントゥ諸語のマイクロバリエーション研究とは? (フォーラム「新しいアフリカ言語研究」3: バントゥ諸語のマイクロバリエーション研究)」日本アフリカ学会第 57 回学術大会. 2020.5.23. 東北大学 (オンライン開催)
- ・ 「スワヒリ語の『限定』を表すとりたて表現」Prosody & Grammar Festa 5. 2021.2.21. 国立国語研究所 (オンライン開催)

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究(C)「バントゥ諸語における主語のプロパティに関するマイクロバリエーション研究」2019~2021 年度 研究代表者
- ・ 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究(C)「所有・所在概念の連続性とその言語化にはたらく諸条件に関する言語横断的比較対照研究」2018~2020 年度 研究分担者 (研究代表者: 愛媛大学 今泉志奈子)
- ・ 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究(B)「アフリカ諸言語における受動態の形態統語に関する類型論的比較・対照研究」2019~2022 年度 研究分担者 (研究代表者: 大阪大学 小森淳子)

[その他の活動]

〈管理運営〉 研究・広報・社会貢献委員、科研費相談員

〈学会活動〉 国際バントゥ諸語学会アジア代表常任委員、日本語学会評議員／常任委員／国際発信力強化小委員会委員長、関西言語学会運営委員、国立国語研究所共同研究員、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員／共同研究専門委員会外部審査委員

〈社会貢献活動〉 日本学術会議連携会員、スーパーグローバル大学創成支援プログラム中間評価委員

竹村 景子 (TAKEMURA Keiko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アフリカ言語社会構造論Iab、アジア・アフリカ文化表象論特別研究 ab

〈共通教育担当科目〉 アフリカの文化と社会を知る、アフリカ言語文化研究入門

〈学部教育担当科目〉 スワヒリ語 1、スワヒリ語 14、アフリカ地域文化特別演習Iab

[研究活動]

〈研究テーマ〉 スワヒリ語諸方言の文法記述、スワヒリ現代文学研究、女性のライフヒストリー研究

〈所属学会〉 日本アフリカ学会、日本語学会、大阪大学言語社会学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ *Dynamism in African Languages and Literature: Towards conceptualisation of African potentials.* (Nyamnjoh, Francis B.との共編著) 2021. 3. 19. Langaa Research & Publishing Common Initiative Group.

〈論文〉

- ・ “Introduction - Dynamism in African Languages and Literature: Towards conceptualisation of African potentials” (with Nyamnjoh, Francis B.), in *Dynamism in African Languages and Literature: Towards conceptualisation of African potentials.* pp.1-15. 2021. 3. 19. Langaa Research & Publishing Common Initiative Group.
- ・ “Swahili from the perspectives of ‘Language’ and ‘Literature’”, in *Dynamism in African Languages and Literature: Towards conceptualisation of African potentials.* pp.169-184. 2021.3. 19. Langaa Research & Publishing Common Initiative Group.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 「ザンジバルのスワヒリ語諸変種に見られるマイクロバリエーション」(宮崎久美子氏との共同発表, 2020年5月23日, 日本アフリカ学会第57回学術大会, 東京外国語大学@オンライン)

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費補助金 (基盤 C : 2019-2023 研究代表者「ザンジバルにおけるスワヒリ語諸変種の記述研究—文法・語彙の差異に着目して—」)
- ・ 科学研究費補助金 (基盤 S : 2016-2020 研究分担者「「アフリカ潜在力」と現代世界の困難の克服 : 人類の未来を展望する総合的地域研究」)

[その他の活動]

〈管理運営〉 外国語学部長、大阪大学経営協議会学内委員、大阪大学総長選考会議学内委員、大阪大

学教育研究評議員、大阪大学創立 90 周年・大阪外国語大学創立 100 周年記念事業委員会委員、全学教育推進機構運営協議会委員、大学院文学研究科・大学院言語文化研究科統合協議会委員、OU グローバルキャンパス（箕面キャンパス）運営会議委員

〈学会活動〉大阪大学言語社会学会監事

〈社会貢献活動〉

- ・2020 年 11 月 7 日：「2020 年度 GLHS 大阪大学ツアー」における講演「毒を食らわば皿まで—スワヒリ語とアフリカ地域研究との 34 年間—」@大阪大学豊中キャンパス南部陽一郎ホール

小森 淳子 (KOMORI Junko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉アフリカ言語構造論特別研究

〈学部教育担当科目〉スワヒリ語 2、スワヒリ語 15、スワヒリ語I、アフリカ言語学講義、西アフリカ諸語演習（バンバラ語）、アフリカ地域文化特別演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉アフリカ言語学（ニジェール・コンゴ語族の動詞形態論・統語論研究）

〈所属学会〉日本アフリカ学会、日本語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・小森淳子「バンバラ語の声調—語の声調パターンと自律分節的声調付与」、梶茂樹編『アフリカ諸語の声調・アクセント』pp.27-46, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（2021.3.5）

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「受動文の類型—ニジェール・コンゴ語族の中のバントゥ諸語の特徴」日本アフリカ学会第 57 回学術大会（フォーラム：新しいアフリカ言語研究 3 バントゥ諸語のマイクロバリエーション研究）2020.5.23-24 オンライン

〈研究助成〉

- ・科学研究費補助金 基盤研究（B）「アフリカ諸言語における受動態の形態統語に関する類型論的比較・対照研究」（研究代表者、2019-2022 年度）

[その他の活動]

〈管理運営〉人権問題委員会全学委員、スワヒリ語部会主任／学科目代表

ISACK Zainabu Kassu, Specially Appointed Lecturer

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Special Seminar in Swahili, Structures of African Languages IIa

<Foreign language classes> Seminar of Swahili Literature, Swahili 12, Swahili IIa, African Culture, Swahili 4, Swahili 5, Swahili 13.

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Applied Linguistics, Semantics, Sociolinguistics, Syntax, African Culture.

[Research achievements]

<Papers>

"Kaida na Miiko katika Utamaduni wa Kiswahili" in *Frontier of Foreign Language Education*, (4) 2021, 223-233.

【ヨーロッパ I 講座】

〔ロシア語〕

上原 順一 (UEHARA Junichi) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語構造論

〈共通教育担当科目〉 国際コミュニケーション (ロシア語)

〈学部教育担当科目〉 ロシア語、ロシア学入門、ロシア語学演習、ロシア語学講義

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ロシア語の語彙論、語形成論、学習者向け教材など

〈所属学会〉 日本ロシア文学会、日本ロシア文学会関西支部、大阪大学言語社会学会、日本ロシア語教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「ロシア語の派生語と辞書」, 『外国語教育のフロンティア』, 大阪大学大学院言語文化研究科、4号、pp.151-159、2021年3月.

[その他の活動]

〈管理運営〉 情報セキュリティ推進会議、ODINS 部局担当、情報化推進会議 (外国語学部) など

〈社会貢献活動〉 咲耶会 (大阪外国語大学 大阪大学外国語学部 同窓会) 幹事、大阪大学言語社会学会 理事

藤原 克美 (FUJIWARA Katsumi) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語社会構造論 I

〈共通教育担当科目〉 欧米の政治経済事情

〈学部教育担当科目〉 専攻語実習 (ロシア語 13)、ロシア語 VII、ロシア政治・経済講義 I、ロシア政治・経済演習 II

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ロシア経済論、ソビエト経済論

〈所属学会〉 比較経済体制学会、日本比較経営学会、ロシア・東欧学会、経済理論学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・「満洲国下のチューリン商会における多民族共生」『移動と共生の東北アジア：中蒙露朝辺境にて』岡洋樹編著、2020年10月。

〈翻訳・翻訳書〉

- ・Z. モルグン著「戦後の沿海地方：日本人の軌跡」『セーヴェル』ハルビン・ウラジオストクを語る会、37号、2021年3月、72-82頁。

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「第二部 ロシア国家主導システムの諸相」、シンポジウム『国家主導資本主義の経済学』の刊行について、2021年3月14日。

[その他の活動]

〈管理運営〉外国語学部評価委員、全学教育推進機構兼任教員

〈学会活動〉

- ・ロシア・東欧学会理事（2018年10月～2021年10月）
- ・Chair of the session: Perspective of New World Order, “100 years of World Wars and Post-War Regional Collaboration and Good Governance, - How to Make a New World Order? -”, Science Council of Japan, Committee of Area Studies, & Committee of Economics, December 8, 2020.

〈社会貢献活動〉阪神シニアカレッジ講師、関西ロシア語コンクール審査員

横井 幸子 (YOKOI Sachiko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語社会動態論、広域対照言語論特別研究

〈共通教育担当科目〉欧米の文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉ロシア語、ロシア語学演習、教科教育法（ロシア語）

[研究活動]

〈研究テーマ〉ロシア語・第2言語教育、言語教育政策、教師教育

〈所属学会〉日本ロシア語教育研究会、日本ロシア文学会、アメリカ応用言語学学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・横井幸子（2020年10月30日）「高校のロシア語教育における『主体的、対話的で深い学び』について」『ロシア語教育研究』第11号, 117-132.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・横井幸子（2021年2月6日）日本の中等教育における外国語としてのロシア語教育. 日本におけるロシア語教育：母語・継承語・外国語～若い世代の経験、課題、展望～. 基調講演. 北海道大学.
- ・Yokoi, S. (January 23, 2021). Creating a third space: Grappling with cultural reality and hybridity. Invited plenary lecture. International Development Field Camp for Myanmar and Japan Youth Leaders 2021.

〈研究助成〉

- ・文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C) 「留学の学習効果に関する縦断的研究：学習者のロシア語習得過程と異文化への」 2020 年度～2023 年度.

[その他の活動]

〈学会活動〉 日本ロシア語教育研究会代表 (2017 年 12 月～), 日本ロシア文学会理事 (2019 年 10 月～), MHB 学会理事 (2020 年 4 月～)

高橋 健一郎 (TAKAHASHI Kenichiro) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 広域対照言語論IIA, B

〈共通教育担当科目〉 国際コミュニケーション演習 (ロシア語)

〈学部教育担当科目〉 ロシア語 12、ロシア学入門IIa、ロシア語学講義IIb、ロシア文学・芸術演習IIa, b、ロシア語VIIIa, b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 20 世紀初頭のロシア文化における音楽思想

〈所属学会〉 日本ロシア文学会、社会言語科学会、日本記号学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「2019 年度の事業を振り返って：札幌丘珠高校と札幌大学の高大連携の試み」『ロシア語教育研究』第 11 号、2020 年、173-180 頁

〈翻訳・翻訳書〉

- ・「ニコライ・メトネルの音楽論 (1) : 『ミューズと流行：音楽芸術の基礎の擁護』 翻訳と解題 (第 1 部第 3-5 章)」『言語文化研究』第 47 号、2021 年、259-276 頁

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「日ロの喫茶文化」(モスクワ大学ロシア語・ロシア文化研究所オンラインセミナー『ロシア土曜セミナー』(2021 年 2 月 13 日))
- ・「ロシア文化の魅力」(モスクワ大学ロシア語・ロシア文化研究所オンラインセミナー『ロシア土曜セミナー』(2021 年 1 月 30 日))

〈研究助成〉

- ・科学研究補助費 (基盤研究 B) 「危機と再生のヴィジョン：ドストエフスキー文学の世界性をめぐる超域的研究」 研究分担者

[その他の活動]

〈学会活動〉 日本ロシア文学会北海道支部運営委員 (～2020 年 10 月)、日本ロシア文学会理事 (～2020 年 10 月)、日本ロシア文学会国際交流委員

〈社会貢献活動〉 日本アレンスキー協会副会長、北海道ポーランド文化協会運営委員 (～2020 年 10 月)

[ハンガリー語]

早稲田 みか (WASEDA Mika) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語構造論 IIab

〈共通教育担当科目〉学問への扉

〈学部教育担当科目〉ハンガリー語 1, 11, IIab, ハンガリー語学演習 I ab, ハンガリー語学講義 I ab

[研究活動]

〈研究テーマ〉ハンガリー語学

〈所属学会〉日本ウラル学会、国際ハンガリー学会、日本言語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ Egy gondolat bánt engemet... – Mi a haszna a hungarológiának? *Hungarológiai Évkönyv* 20. évf. 1. sz. 13-14. 2020. 4.
- ・ A Kultúrspecifikus kifejezések fordítási nehézségei a magyar szépirodalom japánra fordításakor: Esterházy Péter és Krasznahorkai László szövegeinek fordítása. In *Hungarológia a Távol-Keleten: Korea és Japán*. Spectrum Hungarologicum Vol. 10. University of Jyväskylä. 37-45. 2020. 8.
- ・ Két nyelv között - Mai magyar irodalom japánul. Vihar Judit (szerk.) *Magyarországi és japán kapcsolatok az elmúlt évtizedek tükrében*. Magyar-Japán Baráti Társaság. 111-121. 2020. 12.

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費「ハンガリー語動詞接頭辞の文法化とモダリティの意味」

[その他の活動]

〈学会活動〉日本ウラル学会理事

〈社会貢献活動〉愛知県ハンガリー友好協会理事

岡本 真理 (OKAMOTO Mari) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語社会動態論、ヨーロッパ・アメリカ言語社会研究序説

〈学部教育担当科目〉ハンガリー語 3, ハンガリー語 4, ハンガリー語 1 3, ハンガリー文化講義 I, ハンガリー語学演習 III, 特別外国語ハンガリー語

[研究活動]

〈研究テーマ〉ハンガリー語社会論（近代民族語運動および文学運動）

〈所属学会〉日本ウラル学会、大阪大学言語社会学会、ハンガリー学会、国際ハンガリー学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ (単著)「大平原の小さな文化都市—作家コストラニと世紀転換期のサバトカ」『ハンガリー研究』

創刊号, 87-106 ページ, 2021 年 3 月。

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・(講演)「ハンガリーを旅するヒント: ヨーロッパなのにヨーロッパじゃない? ちょっとふしぎな国の文化」NHK 文化センター京都教室, 2020 年 6 月 28 日。

〈研究助成〉

- ・科学研究費補助金基盤研究(C) 課題番号 19K00498 「国家変容と国民文学運動に関する事例研究: 近代ハンガリーの文学団体とカノン形成」(平成 31 年~令和 4 年度)

[その他の活動]

〈管理運営〉

言語文化研究科: 男女協働推進センター委員, 教育改革推進会議委員

外国語学部: なんでも相談室室長, 学生支援委員会委員, 外国語学部障がい学生支援担当

その他: 箕面地区過半数代表(2020 年 11 月~2021 年 3 月)

〈学会活動〉 日本ウラル学会幹事, 国際ハンガリー学会理事

〈社会貢献活動〉 国際交流基金翻訳助成事業審査委員, フクシマグローバル財団奨学金審査委員

鈴木 広和 (SUZUKI Hirokazu) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語社会動態論VIII A、ヨーロッパ言語社会動態論VIII B、ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究 A、ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究 B

〈共通教育担当科目〉 欧米の文化と社会を知る F

〈学部教育担当科目〉 ハンガリー語 12、ハンガリー語 Va、ハンガリー語 Vb、ハンガリー研究入門 Ia、ハンガリー文化講義 IIa、ハンガリー文化講義 IIb、ハンガリー特別講義 Ia、ハンガリー特別演習 IIIa、ハンガリー特別演習 IIIb

[研究活動]

〈研究テーマ〉 中世ハンガリー王国における歴史と歴史叙述、中世ハンガリー王国における文書発給

〈所属学会〉 東欧史研究会、日本ウラル学会、ハンガリー学会、Nemzetközi magyarságtudományi társaság (国際ハンガリー学会)、日本西洋史学会、史学会

[研究業績]

〈論文〉

「ケーザイの著作『ゲスタ』におけるナティオ」『ハンガリー研究』創刊号、107-130 頁。

[その他の活動]

〈管理運営〉 国際交流委員会委員長、全学学生生活委員会委員

〈学会活動〉 日本ウラル学会理事

KOVÁCS RENÁTA, Specially Appointed Associate Professor

[Teaching activities]

<Graduate School classes>

I mainly teach Hungarian as a foreign language. I also teach Literature and Cinema related subjects, but always with the focus on acquisition of Hungarian as a foreign language.

[Academic activities]

<Research Fields and interests>

My main research field is foreign language acquisition, with special attention on acquisition of metaphoric expressions in the framework of cognitive linguistics. I am also interested in researching the role of literature and authentic texts in the foreign language acquisition.

<Academic society memberships>

- Japanese Uralic Society
- Spanish Society for Applied Linguistics (AESLA)
- Association for Researching and Applying Metaphor
- International Association for Hungarian Studies

[Research achievements]

<Papers>

- AZ ÉLET EGY UTAZÁS fogalmi metafora rögzös útja, avagy amit a hibaelemzés felfed a célnyelvi metaforikus kifejezések elsajátításáról (The thorny path of LIFE IS A JOURNEY metaphors or what error analysis reveals about the acquisition of metaphoric expressions in foreign language). In: Hungarológiai Évkönyv (ed: Dóla Mónika – Nűdor Orsolya – Szűcs Tibor). Pécs: University of Pécs, 21/1-2: 89-98.
https://epa.oszk.hu/02200/02287/00021/pdf/EPA02287_hungarologiai_evkonyv_2020_01.pdf
- Hibatípusok a köztes nyelvben (Error types in interlanguage). 『ハンガリー研究』 1. (2021.3), 69-86.

[ドイツ語]

進藤 修一 (SHINDO Shuichi) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語社会動態論 III A/B、ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究 A/B、ヨーロッパ・アメリカ言語文化研究序説 (リレー講義)

〈共通教育担当科目〉 欧米の文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉 ドイツ語 2、ドイツ語圏文化演習 V、ドイツ語圏現代社会演習 IIIb

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ドイツ近現代史 (中央ヨーロッパ・ドイツ系中等学校の比較研究、移民社会における学校)

〈所属学会〉 日本西洋史学会、史学会、大阪大学言語社会学会、大阪大学ドイツ文学会

[研究業績]

〈研究助成〉 科学研究費補助金 (基板研究 (C)) 「中央ヨーロッパ・ドイツ系中等学校の比較研究—国家・地域を越えたシステムの検討」

[その他の活動]

〈管理運営〉大阪大学副理事、大阪大学総長補佐、大阪大学教育オフィス筆頭オフィス員、大阪大学教育オフィス副オフィス長、大阪大学キャリアセンター副センター長、大阪大学高等教育・入試開発研究センター高大接続部門長、広報企画本部広報戦略策定委員会委員、大阪大学とカリフォルニア大学との学術交流推進室運営委員会委員、教育課程委員会副委員長、同委員会カリキュラム検討専門部会長

〈学会活動〉大阪大学言語社会学会理事、同編集委員

〈社会貢献活動〉大阪大学 SEEDS プログラム運営委員、同運営指導委員長、ひょうごグローバルリーダー育成推進懇話会委員、JST ジュニアドクター育成塾（めばえ適塾）運営委員

中川 裕之 (NAKAGAWA Hiroyuki) 教授

<http://www.lang.osaka-u.ac.jp/~nkg/naka.htm>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ・アメリカ言語構造論特別研究A, ヨーロッパ・アメリカ言語構造論特別研究AB, ヨーロッパ言語構造論VIIA, ヨーロッパ言語構造論VII B, 広域対照言語論III A, 広域対照言語論III B

〈共通教育担当科目〉地域言語文化演習

〈学部教育担当科目〉ドイツ語11 (A), ドイツ語11 (B), ドイツ語圏文化演習Ia, ドイツ語圏文化演習Ib, ドイツ語圏文化講義Ia, ドイツ語圏専門文献演習Ib, ドイツ語初級a (B), ドイツ語初級b (B)

[研究活動]

〈研究テーマ〉ドイツ語コーパス言語学, 日独語対照研究, 語用論, 談話分析, 機能文法、スイス地域研究, 外国語教育

〈所属学会〉日本独文学会, ドイツ語教育部会、スイス文学会、スイス史研究会、多言語社会研究会、多言語化現象研究会

[その他の活動]

〈管理運営〉言語文化研究科言語社会専攻ヨーロッパI講座代表、外国語学部外国語学科ドイツ語専攻学科目代表、言語文化研究科言語社会専攻図書委員

黒谷 茂宏 (KOKUTANI Shigehiro) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉広域対照言語論 IV A/B、世界の言語（リレー講義）

〈共通教育担当科目〉ドイツ語中級

〈学部教育担当科目〉ドイツ語圏専門文献演習 II a/b、ドイツ語圏文化演習 II a/b、ドイツ語 VI a/b、ドイツ語教科教育法 I/II/III/IV、ドイツ語 1(A)、ドイツ語 1(B)

[研究活動]

〈研究テーマ〉言語学、ドイツ語学、ドイツ語教育

〈所属学会〉 Internationale Vereinigung für Germanistik、Deutsche Gesellschaft für Kognitive Linguistik、日本フランス語学会

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ Klassifizierung und System der Funktionsverbgefüge. 56. Linguistisches Kolloquium (online). 2020 年 11 月 26-28 日。

[その他の活動]

〈管理運営〉 外国語学部入試委員会副委員長、安全衛生委員

北岡 志織 (KITAOKA Shiori) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 広域言語文化論 IIab

〈共通教育担当科目〉 ドイツ語中級

〈学部教育担当科目〉 ドイツ語圏文化演習 IIIab、ドイツ語圏文化概論 Aab、ドイツ語 VIIab、ドイツ語初級 (C) ab、ドイツ語中級 L Lab

[研究活動]

〈研究テーマ〉 現代ドイツ文学、現代ドイツ演劇、公共劇場と難民の表象

〈所属学会〉 日本独文学会、阪神ドイツ文学会、日本ドイツ学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 北岡志織「現代ドイツ文学・演劇における「証言」—アウシュヴィッツと難民の表象についての考察—」、『ヨーロッパ超域研究 2』言語社会共同研究プロジェクト 2020、 p.17-29、2021 年 3 月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ Shiori KITAOKA “Ein neuer Exotismus auf der Bühne? Flüchtlinge in zeitgenössischen deutschen öffentlichen Theatern”, Exotismen in der Kritik, Digitaler Workshop an der Nihon University, 2021 年 3 月

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費補助金 (若手研究) 「現代ドイツ演劇と難民問題—大劇場における難民の「語り」とカタストロフの表象」(研究代表者) (2020-2024)

[その他の活動]

〈管理運営〉 学生支援委員会委員長、研究・広報・社会貢献委員会委員、語劇祭顧問、ありがとうさようなら箕面キャンパス実行委員

濱田 洋輔 (HAMADA Yosuke) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語社会動態論 IX

〈学部教育担当科目〉 ドイツ語 2, ドイツ語圏専門文献演習 I, ドイツ語圏文化概論、ドイツ語圏文

化演習 IV、ドイツ語中級、ドイツ語科教育法 III

[研究活動]

〈研究テーマ〉ダーウィン進化論、カッシーラー、哲学的人間学

〈所属学会〉国際エルンスト・カッシーラー協会、日本倫理学会

[研究業績]

〈論文〉

・「エルンスト・カッシーラーの書かれなかった倫理学：その根幹、問題、意義」、『倫理学年報』69、145-159 頁、2020

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・「倫理学におけるダーウィン進化論の意義」、第 71 回日本倫理学会におけるワークショップ（「なぜ倫理学に進化が必要か」）、2020.10.2

Guido Rappe, Specially Appointed Associate Professor

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Course on language, Course on scientific writing

<General Education classes> Course on topics of German Society

<Foreign language classes> 2 classes for beginners, 2 for 2nd year students

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Language, origin of language; Modern Phenomenology

<Academic society memberships> (German) JSPS-Club

[Research achievements]

<Papers>

Rappe, Guido

2020 Digitalisierung, Künstliche Intelligenz und die Macht der Atmosphären; in: Die Macht der atmosphären; Hrsg. Wolf, B. u. Julmi, C.; (Alber) Freiburg

2021 Lust und Natur im Garten des Epikur; in: Festschrift für Harald Holz; Universitätsverlag Bochum

【ヨーロッパ II 講座】

[スウェーデン語]

高橋 美恵子 (TAKAHASHI Mieko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究、ヨーロッパ言語構造論

〈学部教育担当科目〉スウェーデン語実習、スウェーデン現代社会特別演習、北欧現代社会概説、北
欧文化講義

[研究活動]

〈研究テーマ〉ワーク・ファミリー・バランスの日本・EU 比較研究、次世代育成支援に関する国際比較研究、スウェーデンにおけるライフスタイルの多様性とジェンダー

〈所属学会〉日本社会学会、日本家族社会学会、関西社会学会、International Sociological Association、社会政策学会、日本人口学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・高橋美恵子 「スウェーデンにおける出生率の動向と家族政策の変遷—仕事と子育ての両立支援と格差是正の視点から—」『月刊 統計』2020年10月号, pp.4-11.

〈研究助成〉

- ・科学研究費補助金・基盤研究 (B) 一般「多様性社会のワーク・ファミリー・バランス—スウェーデン・オランダ・ドイツの実践」2016年度～2020年度 (研究代表者)

〈調査活動〉

- ・多様性社会のワーク・ファミリー・バランス研究: 2020年10月～12月、スウェーデン、オランダ、ドイツにおけるコロナ禍での働き方・家庭生活の変化に関するWEBアンケート調査実施

[その他の活動]

〈管理運営〉計画評価オフィス副オフィス長、SDGs推進委員・SDGs推進委員会企画部会委員、研究・広報・社会貢献委員会委員 (言社)、入試委員 (外)

〈学会活動〉日本家族社会学会編集委員

〈社会貢献活動〉内閣府「少子化社会に関する国際意識調査」企画分析委員、関西日本スウェーデン協会顧問

古谷 大輔 (FURUYA Daisuke) 准教授

(個人) <http://gustav.air-nifty.com> (科研) <http://conglomerate.labos.ac>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究、ヨーロッパ言語構造論、ヨーロッパ言語社会動態論

〈共通教育担当科目〉欧米の文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉北欧史概説、スウェーデン史特別演習、デンマーク史特別演習、北欧文化演習、スウェーデン語

[研究活動]

〈研究テーマ〉北欧近世史、歴史的ヨーロッパにおける主権概念の批判的再構築、歴史的ヨーロッパにおける複合政体の比較研究

〈所属学会〉日本西洋史学会、バルト・スカンディナヴィア研究会、大阪大学言語社会学会、スウェーデン歴史協会 (Svenska Historiska Föreningen)

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・基盤研究 (A) 「歴史的ヨーロッパにおける主権概念の批判的再構築」、平成 29～32 年度科学研究費補助金、研究代表者
- ・基盤研究 (B) 「ジャコバン主義の再検討：「王のいる共和政」の国際比較研究」、平成 28～31 年度科学研究費補助金、研究分担者
- ・課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業「国民国家型の大学歴史教育をグローバル化時代に適応させる方法に関する国際比較」、平成 28～31 年度日本学術振興会、研究分担者

[その他の活動]

〈管理運営〉大阪大学適塾記念センターオランダ学研究部門兼任教員、大阪大学先導的学際研究機構グローバルヒストリー研究部門部門員、大阪大学 21 世紀懐徳堂兼任教員、大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻研究企画推進委員会委員

〈学会活動〉Svenska Historiska Foereningen Internationella redaktionen (スウェーデン歴史協会国際編集委員)、バルト・スカンディナヴィア研究会関西支部事務局、大阪大学言語社会学会理事、日本西洋史学会『西洋史学』編集幹事

當野 能之 (TOHNO Takayuki) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語構造論 V A、ヨーロッパ言語構造論 V B、世界の言語

〈共通教育担当科目〉特別外国語演習 (スウェーデン語) I、特別外国語演習 (スウェーデン語) II

〈学部教育担当科目〉スウェーデン語 2、スウェーデン語 3、スウェーデン語 12、スウェーデン語 Ib、スウェーデン語学特別演習 a、スウェーデン語学特別演習 b、教科教育法 (スウェーデン語) a、教科教育法 (スウェーデン語) b

[研究活動]

〈研究テーマ〉スウェーデン語文法、不変化詞動詞構文、スウェーデン語教育

〈所属学会〉日本言語学会、関西言語学会、大阪大学言語社会学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・當野能之 (2021) 『スウェーデン語トレーニングブック』白水社

〈論文〉

- ・當野能之, 梅谷綾, 南澤佑樹, 芝田思郎, Márton András Tóth (2021) 「スウェーデン語基本不変化詞動詞リストスウェーデン語を学ぶ教材 1ー」, 『IDUNー北欧研究ー』別冊 4 号, 1-118, 大阪大学言語文化研究科言語社会専攻デンマーク語・スウェーデン語研究室

〈書評・論評・紹介〉

- ・當野能之 (2020) 「高度配信+阪大出版「スウェーデン語」語彙集第 2.2 版」, 大阪大学外国語学部スウェーデン語専攻ホームページ

(<http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/swedish/publikation.html>)

〈研究助成〉

- ・科学研究費補助金 基盤 (C) 「現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト作成に関する基礎的研究」2018年～2020年(研究代表者)
- ・科学研究費補助金 基盤 (C) 「微視的類型論によるパラレル・コーパスを利用したバルト海周辺諸語の不定人称文の研究」(研究代表者:名古屋大学 佐久間 淳一)2017年～2020年(研究分担者)
- ・科学研究費補助金 基盤 (C) 「社会包摂に鑑みた北欧文学の異文化理解・言語教育への応用モデル研究」(研究代表者:大阪大学 田辺 欧)2020年～2024年(研究分担者)

[その他の活動]

〈管理運営〉教務委員会(学部教務委員会副委員長、大学院教務委員会委員長)

〈学会活動〉関西言語学会編集委員(2016年4月～)

Marie Therrydotter, Specially Appointed Lecturer

[Teaching activities]

<Foreign language classes> Swedish Language

[デンマーク語]

田辺 欧 (TANABE Uta) 教授

<https://www.utatanabe.com>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語文化表象論II、ヨーロッパ言語構造論IV、ヨーロッパ・アメリカ文化表象論特別研究、世界文学・文化論

〈共通教育担当科目〉学問の扉(北欧文学入門)

〈学部教育担当科目〉デンマーク語1、デンマーク語12、デンマーク語IIa(B)、北欧文学概論、北欧文学特別演習I、北欧文学特別演習II、現代超域文化論

[研究活動]

〈研究テーマ〉近・現代北欧文学(ブリクセン研究、アンデルセン研究、現代北欧モダニズム文学)

〈所属学会〉日本比較文学会、北ヨーロッパ学会、国際アンデルセン学会、エーディット・スーデルグラン学会、大阪大学言語社会学会

[研究業績]

〈翻訳書・監訳〉

- ・ 田辺欧『フィン・フォトンさんと量子力学』、アグネ技術センター、40p.、(2020.12)
- 〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・ 田辺欧(中丸禎子発表「明治・大正期のキリスト教における北欧受容:内村鑑三とヴィルヘルム・グンデルトを中心に」における討論者)、北ヨーロッパ学会、(2020.11)

〈研究助成〉

- ・ 田辺欧 (科研・研究代表者) 基盤研究 (C) 社会包摂に鑑みた北欧文学の異文化理解・言語教育への応用モデル研究 (2020-2023)

[その他の活動]

- 〈管理運営〉ヨーロッパII講座代表、デンマーク語部会主任、デンマーク語学科目代表、外国語学部評価委員会委員長、全学・評価委員会委員、全学・公開講座運営委員会委員
- 〈学会活動〉北ヨーロッパ学会・理事、日本比較文学会・関西支部幹事
- 〈社会貢献活動〉神戸女学院大学外部評価委員

石黒 暢 (ISHIGURO Nobu) 教授

[教育活動]

- 〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語社会構造論II
- 〈共通教育担当科目〉欧米の文化と社会を知る B (北欧事情概説)
- 〈学部教育担当科目〉デンマーク語 13, デンマーク語II, デンマーク現代社会特別演習, デンマーク文化講義 Ia, 北欧現代社会概説 b

[研究活動]

- 〈研究テーマ〉比較福祉国家論, 日本と北欧の高齢者介護論, 子ども家庭福祉論
- 〈所属学会〉日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 社会政策学会, 北ヨーロッパ学会, 関西社会福祉学会, 近畿地域福祉学会, 日本介護福祉学会, 同志社大学社会福祉学会, International Sociological Association

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ Y. Saito, M. Osaka, N. Ishiguro, T. Yamaguchi, M. Kaneda, M. Azuma, F. Nakamura, B. Kim, J. Shimaya, Y. Yoshikawa. "Can communication robot improve quality of life in a group living for people with dementia?", ISG's 12th World Conference of Gerontechnology, 2020年10月7日. オンライン会議.
- ・ 講演「フォルケホイスコーレとデンマーク社会」, 京都版フォルケホイスコーレ-京都町衆文化が根付く商店街で学ぶ人生のためのリカレント事業, 2021年1月21日, キャンパスプラザ京都.

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費補助金 基盤研究 (B) H.28-32 「福祉ガバナンスと介護労働の変容に関する国際比較研究 (研究代表者: 石黒暢)」 (研究代表者)
- ・ 科学研究費補助金 基盤研究 (B) H.30-33 「持続可能な介護保障と制度「外」介護の展開に関する国際比較調査 (研究代表者: 斉藤弥生)」 (研究分担者)

[その他の活動]

- 〈管理運営〉言語文化研究科言語社会専攻・外国語学部国際交流委員副委員長、言語文化研究科・紀要編集委員会委員長、全学国際交流委員、全学施設マネジメント委員
- 〈学会活動〉北ヨーロッパ学会副会長、社会政策学会国際交流委員、関西社会福祉学会学会誌編集委員

〈社会貢献活動〉 豊中市人権文化のまちづくりをすすめる協議会委員

大辺 理恵 (OBE Rie) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語構造論 IIIa・IIIb

〈共通教育担当科目〉 特別外国語演習 (デンマーク語) I

〈学部教育担当科目〉 デンマーク語 2・3、デンマーク語 11、デンマーク語 Ia・Ib、デンマーク語学
特別演習 a・b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 デンマーク語学、デンマーク語教育、言語学

〈所属学会〉 日本言語学会、日本語用論学会、デンマーク北欧文献学学会、デンマーク言語学会、東
ノルド諸語文献学学会

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費助成事業 若手研究 (課題番号 20K13027、「歴史言語学的アプローチによるデンマーク
語法助動詞の多義性に関する研究」(令和2年度～令和4年度) 助成額 (1,300,000 円))

[その他の活動]

〈管理運営〉 大学院入試委員会委員、なんでも相談室委員

〈学会活動〉

〈社会貢献活動〉

- ・ 大阪大学市民講座 2020 Online!～複言語学習のススメ～ (2020年8月20日～11月8日)
- ・ 阪大外国語学部 x みのお市民活動センター マンスリー多文化サロン「実はパンの美味しい国デン
マーク」(2021年3月18日)

Lauritz Korfix Schultz, Specially Appointed Lecturer

<http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/danish/staff3.html>

[Teaching activities]

<Foreign language classes> Danish 4, Danish 5, Danish Va, Danish Vb, Danish VIa, Danish VIb, Danish 14,
Danish 15, Danish IVa, Danish IVb, Danish VIIa and Danish VIIb.

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Depression in new Danish fiction. Danish authors in Japan. Inequality in
Denmark.

[Research achievements]

<Papers>

Educational Practice Report about teaching Danish as a foreign language online from a teacher's perspective.

In: *Frontier of Foreign Language Education* 4. pp. 167-181

<Oral Presentations, Lectures, Reports in conference>

Oral presentation about Danish culture at Obe Senseis class.

[Other activities]

<Social activities>

Helping the students with theater.

【ヨーロッパ・アメリカ I 講座】

[英語]

岡田 新 (OKADA Shin) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 イギリス言語社会動態論、英米政治外交史特殊研究

〈共通教育担当科目〉 総合英語

〈学部教育担当科目〉 英語 2C、イギリス文化概論、イギリス文化特別演習、イギリス文化演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 イギリス労働党の勃興と自由党の衰退

〈所属学会〉 政治学会

[研究業績]

・「1918年総選挙一人区における労働党の戦績」『英米研究』第44号、2020年、大阪大学英米学会

[その他の活動]

〈管理運営〉 言語文化研究科長

〈学会活動〉 言語社会学会代表理事

〈社会貢献活動〉 JICA 招聘研究員講師

貴志 雅之 (KISHI Masayuki) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ・アメリカ文化表象論特別研究 A、ヨーロッパ・アメリカ文化表象論特別研究 B、アメリカ言語文化表象論 IIa、アメリカ言語文化表象論 IIb

〈学部教育担当科目〉 アメリカ文学・文化特別演習 IIa、アメリカ文学・文化特別演習 IIb、アメリカ文学・文化演習 IIa、アメリカ文学・文化演習 IIb、アメリカ文学・文化概論 a、アメリカ文学・文化概論 b、英語 1 (B)、英語 1 1 (C)

[研究活動]

〈研究テーマ〉 20-21世紀アメリカ演劇の政治学研究、アメリカ演劇における疫病を生き抜く政治学、アメリカ演劇の政治文化研究—ポストヒューマン・エコロジー、アメリカン・ミュージカル研究、アメリカ演劇における帝国主義・他者・ポストコロニアリズム

〈所属学会〉 日本アメリカ文学会、日本英文学会、日本アメリカ演劇学会、日本ウィリアム・フォー

クナー協会、日本マーク・トウェイン協会、The Eugene O'Neill Society (米国)、The American Theatre and Drama Society (米国)、Association for Theatre in Higher Education (米国)

[研究業績]

〈単著〉

- ・『アメリカ演劇、劇作家たちのポリティクス——他者との遭遇とその行方』(単著) 金星堂, 2020年6月, 478頁.

〈論文〉

- ・「ポストヒューマン・エコロジーに向けて——『海の風景』における種間遭遇」(単著)『アメリカ演劇』(日本アメリカ演劇学会) 31号(エドワード・オールビー特集III), 2020年5月, pp.1-14.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・フォーラム「アメリカ演劇における病、ディストピア、サバイバル」(個人発表タイトル:「アメリカ演劇、疫病を生き抜く政治学」) 令和2年(2020年)12月5日, 第64回日本アメリカ文学会関西支部大会, ZOOM開催.

[その他の活動]

[管理運営] 大学院入試委員会委員、

[学会活動] 日本アメリカ演劇学会会長、日本英文学会編集委員会顧問、日本アメリカ文学会関西支部評議員

渡邊 克昭 (WATANABE Katsuaki) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ・アメリカ文化表象論特別研究 A, B、アメリカ言語文化表象論 IA, IB、世界文学・文化論 (リレー授業)

〈学部教育担当科目〉アメリカ文学・文化特別演習 Ia, Ib、アメリカ文学・文化講義 Ia, Ib、アメリカ文学・文化演習 Ia, Ib、英語 13(B)、英語 2(B)、現代超域文化論 (リレー授業)

[研究活動]

〈研究テーマ〉

- ・21世紀英語文学におけるポストヒューマニズムの思想的展開—物質としての生命
- ・ドン・デリーロ、マーガレット・アトウッド、ステイヴン・ミルハウザー、リチャード・パワーズ、ソール・ベロー研究
- ・ポストモダン・アメリカ文学・文化研究、文学・文化批評理論、アメリカ映像文化表象論
- ・アメリカ文学におけるホテル的空間の文化史

〈所属学会〉日本アメリカ文学会、日本英文学会、アメリカ学会、日本ソール・ベロー協会、日本ヘミングウェイ協会、日本ウィリアム・フォークナー協会、アメリカ演劇学会、日本マーク・トウェイン協会、大阪大学言語社会学会、日本アメリカ文学会関西支部、中・四国支部、北海道支部、日本英文学会関西支部、阪大英文学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「遺伝子のデザイン、記憶のデザイン—『オリクスとクレイク』における黄昏の代理「神」、スノーマン」、『英米研究』第 45 号（大阪大学英米学会、2021 年 3 月 31 日発行、pp. 39-64.）

〈口頭発表〉

- ・学会シンポジウム講師「錯乱のコズモポリス—『マーティン・ドレスラー』におけるポストヒューマン的身体としての「ホテル」、日本アメリカ文学会関西支部 10 月例会シンポジウム:「変容する〈ホテル〉の時空間」(2020 年 10 月 24 日、オンライン)
- ・学会講演「21 世紀デリーロ文学におけるポストヒューマン的転回—アトウッドとの比較において」、大阪市立大学文学部英文学会第 48 回大会 (2020 年 12 月 12 日、オンライン)

〈研究助成〉

科研費[基盤研究 (C)]による研究

- ・「21 世紀英語文学におけるポストヒューマン思想史の展開—物質としての生命」研究代表者、(2018 年 4 月～)
- ・「アメリカ文学におけるホテル的空間の文化史」研究分担者、(2019 年 4 月～)

[その他の活動]

〈学会活動〉

- ・日本アメリカ文学会代議員、編集委員長
- ・日本アメリカ文学会関西支部評議員
- ・日本英文学会関西支部評議員
- ・日本ソール・ベロー協会理事
- ・大阪大学言語社会学会理事・編集委員

〈管理運営〉

- ・英語専攻学科目代表
- ・ヨーロッパ・アメリカ I 講座代表
- ・外国語学部総務委員
- ・大阪外国語大学 100 年史編集委員
- ・大阪大学外国語学部英語部会同窓会 (EDU) 常任幹事

大津 智彦 (OTSU Norihiko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ・アメリカ言語構造論特別研究、イギリス言語文化資源論

〈学部教育担当科目〉英語学特別演習、英語学演習、英語史概論、英語 3、総合英語

[研究活動]

〈研究テーマ〉英語史、特に統語法の史的変化に関する記述的研究

〈所属学会〉英語コーパス学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 大津智彦 (2021) 「現代英語期における「promise+目的語 +to 不定詞」と「promise+目的語 + that 節」の交替について」『英米研究』第 45 号 (大阪大学 英米学会, 2021 年 3 月) 学術論文

[その他の活動]

〈管理運営〉・ 外国語学部教務委員長、大学院 (言語社会専攻) 教務委員

杉田 米行 (SUGITA Yoneyuki) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉

- ・ アメリカ言語社会構造論 IA・B
- ・ ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究 A・B

〈共通教育担当科目〉

- ・ 総合英語 (Liberal Arts & Sciences)

〈学部教育担当科目〉

- ・ アメリカ史概論 ab
- ・ アメリカ歴史・政経演習 Iab
- ・ アメリカ歴史・政経演習 IIab(A)
- ・ アメリカ歴史・政経特別演習 ab
- ・ アメリカ歴史・政経演習 IIab (B)

[研究活動]

〈研究テーマ〉

- ・ ビッグデータ、人工知能が社会 (主に医療分野) に与える影響
- ・ 日米医療保険史・医療政策史
- ・ 日米外交・安全保障研究

〈所属学会〉

- ・ 日本国際政治学会
- ・ アメリカ学会
- ・ 政治社会学会
- ・ Society for Historians of American Foreign Relations

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・ 科学研究費基盤研究(C)一般 「国際関係の構造的変動と日本の立ち位置の変遷が医療保険制度の展開に与えた影響」研究代表 (2019 年度～2023 年度)
- ・ 国際共同研究促進プログラム (タイプ B) 採択「医療保険制度が診療に与える影響 (腫瘍学を中心として): 日本とインドの比較研究」(2018 年度～2025 年度)
- ・ 国際共同研究促進プログラム (タイプ B) 採択「アジア太平洋地域の平和と安定: 包括的アプロー

チを目指して」(2017年度～2024年度)

[その他の活動]

〈管理運営〉

・マルチリンガル教育センター出講

〈学会活動〉

・政治社会学会理事

・ International Advisory Board member of *Faravid* (the yearbook of the Historical Association of Northern Finland)

・ H-US-Japan Editor

・ H-Diplo Advisory Board member

畑田 美緒 (HATADA Mio) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 イギリス言語文化表象論、ヨーロッパ・アメリカ文化表象論特別研究

〈学部教育担当科目〉 イギリス文学・文化概論、イギリス文学・文化演習、イギリス文学・文化講義、イギリス文学・文化特別演習、

[研究活動]

〈研究テーマ〉 英文学、19世紀のイギリス小説

〈所属学会〉 日本英文学会、日本英文学会関西支部、ディケンズフェローシップ日本支部

中村 未樹 (NAKAMURA Miki) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ・アメリカ文化表象論特別研究、広域言語文化論

〈共通教育担当科目〉 総合英語

〈学部教育担当科目〉 英語1 3、イギリス文化講義、イギリス文化演習、イギリス文化特別演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 イギリス演劇

〈所属学会〉 日本シェイクスピア協会、日本英文学会、日本英文学会関西支部、名古屋大学英文学会、関西シェイクスピア研究会

[研究業績]

〈論文〉

・『アントニーとクレオパトラ』における建築と理性、『英米研究』45、79-90、2021年3月

[その他の活動]

〈学会活動〉 日本シェイクスピア協会委員、名古屋大学英文学会編集委員

〈管理運営〉 国際交流委員会委員

Hofmeyr, Michael Frederick, Specially Appointed Lecturer

[Teaching activities]

<General Education classes>

- English X-a (Sociolinguistics)
- English X-b (English as a Global Language)
- English XI-a (Introduction to Linguistics 1)
- English XI-b (Introduction to Linguistics 2)
- English XII-a (Introduction to Linguistics 3)
- English XII-b (Introduction to Linguistics 4)

<Foreign language classes>

- English 4 (Discussion and Debate 1)
- English 14 (Discussion and Debate 2)

[Academic activities]

<Research Fields and interests>

- Computer-Assisted Language Learning
- Linguistics (Theoretical and Applied)
- Second Language Acquisition

<Academic society memberships>

- CALICO (Computer-Assisted Language Instruction Consortium)
- EUROCALL (European Association for Computer-Assisted Language Learning)
- JALT (Japan Association for Language Teaching)
- LET (Japan Association for Language Education and Technology)

[Research achievements]

<Papers>

- Hofmeyr, M. (2020). Exploring the L2 learning benefits of digital game-based spoken interaction among Japanese learners of English. In K.-M. Frederiksen, S. Larsen, L. Bradley & S. Thouësny (Eds.), *CALL for widening participation: Short papers from EUROCALL 2020* (pp. 102-106). Research-publishing.net. <https://doi.org/10.14705/rpnet.2020.48.9782490057818>

<Oral Presentations, Lectures, Reports in conference>

- Hofmeyr, M. (2021, January). How cooperative digital games can develop L2 speaking skills: Initial findings from a case study project, HKCPD Hub Virtual International Conference, Hong Kong (Online).
- Hofmeyr, M. (2020, November). Learner attitudes towards digital-game-based tasks for language education: Preliminary results, JALT2020, Japan (Online).
- Hofmeyr, M. (2020, August). Investigating the potential L2 acquisition benefits of cooperative digital game-based learner interaction, EUROCALL Online Gathering.

- Hofmeyr, M. (2020, July). Investigating the potential of cooperative digital game-based activities for foreign language education: A case study at a Japanese university, The Online International Doctoral Research Conference in Education, Centre for Educational Research at Liverpool John Moores University, UK.
- Hofmeyr, M. (2020, June). Developing L2 speaking skills with digital games, JALT PanSIG Conference 2020, Japan (Online).
- Hofmeyr, M. (2020, June). Oral communication skill development with a cooperative digital game, JALTCALL2020, Japan (Online).

<Research aids (Competitive Research Funds)>

- ‘Investigating the potential of asymmetrical computer game tasks to facilitate SLA and enhance learner motivation’ (Grant-in-aid for Scientific Research (‘Kakenhi’), Early-Career Scientists Category), 3 years, ¥1,950,000.

[Other activities]

<Other departmental activities>

- Consulting member, hiring committee for new English Department tenured faculty members
- Judge, School of Foreign Studies English Speech Contest
- Marker, English Entrance Examination
- Marker, Japanese as a Foreign Language Entrance Examination
- Member, English Department Entrance Examination Committee
- Member, Japanese as a Foreign Language Department Entrance Examination Committee

<Other presentations>

- Hofmeyr, M. (2021, February). Careers in education: Working as a teacher. Panelist and career consultant at the *After JET Conference*, Japan (Online).

Ashlyn Moehe, Specially Appointed Lecturer

[Teaching activities]

<Graduate School classes> History of Linguistics

<Foreign language classes> English for Communication, Introduction to Semantics and Pragmatics, Introduction to Phonetics and Phonology, The Audio Renaissance, Translation: Theory and Practice, Introduction to Historical Linguistics

[Academic activities]

<Research Fields and interests> English Japanese contrastive linguistics, Psycholinguistics, Translation, Internationalization of higher education

[Other activities]

<Social activities> Tea ceremony, Kimono reform

【ヨーロッパ・アメリカ II 講座】

〔フランス語〕

川北（安生）恭子 (KAWAKITA-ANJO Yasuko) 教授

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語構造論VIII、ヨーロッパ・アメリカ言語構造論特別研究、ヨーロッパ・アメリカ言語社会研究序説

〈学部教育担当科目〉フランス語3、フランス語15、フランス語学演習、フランス語教科教育法、フランス文化演習IV、兼修語学初級フランス語

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉フランス語連結詞、フランス語教育、

〈所属学会〉日本フランス語学会、日本フランス語フランス文学会、大阪市立大学フランス文学会、大阪大学フランス文学会、言語社会学会

〔その他の活動〕

〈管理運営〉知的基盤総合センター兼任教員、入試委員会委員、フランス語部会主任、学科目代表

〈学会活動〉日本フランス語フランス文学会語学教育委員会委員

高階 早苗 (TAKASHINA Sanae) 教授

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語文化表象論、ヨーロッパ・アメリカ文化表象論特別研究

〈共通教育担当科目〉フランス語

〈学部教育担当科目〉フランス語、フランス研究入門、フランス文学演習

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉19世紀フランス文学における私的空間と公的空間

〈所属学会〉日本フランス語フランス文学会

〔その他の活動〕

〈管理運営〉人権問題委員会委員

岡田 友和 (OKADA Tomokazu) 講師

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ社会動態論IV、ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究

〈共通教育担当科目〉

〈学部教育担当科目〉フランス文化演習I、フランス歴史演習、フランス研究入門II、フランス語5、フランス語12、フランス語初級

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉フランス近現代史

〈所属学会〉日仏歴史学会、史学会、西洋史学会、政治経済学・経済史学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・(分担／38章・45章) 中野隆生・加藤玄編著『フランスの歴史を知るための50章』明石書店 2020年5月

〈研究助成〉

- ・(継続) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(B)「フランスとベトナムの「国民国家形成」に関する研究—インドシナの労働政策をめぐって—」(研究代表: 岡田友和/課題番号 17K13520)
- ・(分担) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「植民地における予防と監視の比較研究—治安秩序維持と公衆衛生に焦点を当てて—」(研究代表: 鬼丸武士/課題番号 20H04406)

[その他の活動]

〈管理運営〉なんでも相談室委員

POLET Jean-Noël, Specially Appointed Associate Professor

<http://www.jeannoel@lang.osaka-u.ac.jp>

[Teaching activities]

<Graduate School classes>

<General Education classes>

<Foreign language classes> Courses on written French (A2 and B1/B2 levels), course on communication in French (B2 level), course on French society, course on French communication for beginners, course on French communication for the non-specialist

[Academic activities]

<Research Fields and interests> French social history, history of the port of Marseilles

<Academic society memberships>

[Research achievements]

<Papers>

- ・ La guerre froide dans la vie quotidienne. L'exemple des ouvriers du port de Marseille (1947-1948), *Studies in Language and Culture*, 47, pp. 218-239, 2021.

[Other activities]

<Academic society activities> Examiner Delf-Dalf

[イタリア語]

菊池 正和 (KIKUCHI Masakazu) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語文化表象論、現代超域文化論 (リレー講義)

〈共通教育担当科目〉欧米の文化と社会を知る

〈学部教育担当科目〉 イタリア語 2、イタリア語 12、イタリア文学講義、イタリア社会演習、イタリア文化特別演習I、世界文学・文化論（リレー講義）

[研究活動]

〈研究テーマ〉 近現代イタリア文学、イタリア演劇

〈所属学会〉 イタリア学会、関西イタリア学研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「ピランデッロとシチリアー『老人たちと若者たち』における歴史への懐疑と生成への希望」、『日伊文化研究』59号、公益財団法人日伊協会、2021年3月29日

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・オンライン講座「広告で学ぶイタリア語」関西イタリア学研究会、2020年5月12日

〈研究助成〉

- ・科学研究費補助金基盤研究（C）「未来派演劇における身体性の研究—その抽象化と機械化の意味」（課題番号：20K00497）令和2年～4年（研究代表者）

[その他の活動]

〈管理運営〉 なんでも相談室員、イタリア語学科目代表、協定校コンタクトパーソン（ペルージャ外国人大学）

〈学会活動〉 イタリア学会幹事、関西イタリア学研究会運営委員

〈社会貢献活動〉 公益財団法人日本イタリア会館理事、京都市立高倉小学校学校運営協議会委員

ベルテッリ・ジュリオ・アントニオ (BERTELLI Giulio Antonio) 准教授

<https://researchmap.jp/brtgnt76-7-19>

[教育活動]

イタリア語、イタリア文化（イタリア史）関連授業 13コマ

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語社会動態論VIIA,B

〈共通教育担当科目〉 国際コミュニケーション演習（イタリア語）

〈学部教育担当科目〉 イタリア歴史講義 a,b / イタリア歴史社会特別演習 a,b / イタリア言語文化概説 II a,b / イタリア語 1（通年） / イタリア語 4（通年）

[研究活動]

〈研究テーマ〉 幕末・明治初期における日伊交流史

〈所属学会〉 European Association for Japanese Studies (EAJS) - ヨーロッパ日本研究協会、イタリア学会（評議員）、日伊研究学会 Associazione Italiana Studi Giapponesi (AISTUGIA)、明治維新史学会、イタリア近現代史研究会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ BERTELLI Giulio Antonio, *The Travel Journals of Mathilde, Contessa Sallier de La Tour into the Interior of*

Japan, 1867-1870 including Letters, Notes and Sketches - In Two Volumes, Eureka Press for Edition Synapse / Routledge, 2021/01 (全 2 巻、610 ページ、フランス語原文・英訳文を含むバイリンガル版), ISBN: 9784861662232 (単著)

URL 1

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/catalog/the-travel-journals-of-mathilde-contessa-sallier-de-la-tour/>

URL 2

https://www.aplink.co.jp/synapse/pdf/The_Travel_Journals_of_Mathilde.pdf

- BERTELLI Giulio Antonio, *I viaggi in Giappone e Cina del semaio Pietro Fè D'Ostiani tra il 1870 e il 1875 – un memoriale inedito*, in Carolina Negri, Rosa Caroli, Bonaventura Ruperti “Sguardi sul Giappone”, Aracne Editrice, 2020 (ISBN: 9788875434854), 担当ページ: 149-170 (共著)

DOI: <https://doi.org/10.48231/978887543485410>

URL: <https://cafoscarina.it/home/sguardi-sul-giappone/#> (本文閲覧可)

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ベルテッリ・ジュリオ・アントニオ、「イタリアの古文書館・個人書庫に眠る 日本関係史料とその魅力について—幕末・明治初期を中心に—」、2021年2月20日、国際研究集会「幕末・維新期の日伊関係史料」、東京大学史料編纂所主催、於：オンライン (Zoom) 詳細：https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/news/2020/italia_flyer_final.pdf

〈研究助成〉

- 科研費・基盤研究 C (2020-22 年度)、「日伊交流史の黎明期—明治維新直後のイタリア人による内地旅行と未公開記録を中心に—」、課題番号: 20K00914

〈調査活動〉

- オンライン史料調査 (東京大学史料編纂所など)

[その他の活動]

〈管理運営〉 イタリア語部会主任、教務委員会委員

〈学会活動〉 イタリア学会評議員

霜田 洋祐 (SHIMODA Yosuke) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語社会構造論 V

〈共通教育担当科目〉 地域言語文化演習 (イタリア語)

〈学部教育担当科目〉 イタリア語 3、イタリア語 11、イタリア言語文化概説 I、イタリア文化講義 II、イタリア語学文学特別演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 イタリア近代文学

〈所属学会〉 イタリア学会、世界文学会、関西イタリア学研究会、リアリズム文学研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・霜田洋祐「マンゾーニ『婚約者』における歴史とフィクションの接続について」、『世界文学』第131号、pp. 1-9、2020年7月
- ・田中真美、霜田洋祐、國司航佑「«Iter Iaponicum»: 日本国内所在の写本・古版本のカタログ作成に向けて」、『早稲田大学イタリア研究所研究紀要』第10号、pp. 111-142、2021年3月

〈翻訳・翻訳書〉

- ・霜田洋祐「翻訳 ジョヴァンニ・ヴェルガの戯曲「カヴァッレリーア・ルスティカーナ」、言語社会共同研究プロジェクト2020『ヨーロッパ超域研究2』、pp. 31-52、2021年3月

〈研究助成〉

- ・科研費補助金 研究活動スタート支援「現実の記録と告発のためのリアリズム：マンゾーニ『婚約者』決定版のレトリック」

〈調査活動〉

- ・イタリア語で書かれた1600年以前の古刊本の国内所蔵カタログ作成のための調査（天理大学、九州大学）

[その他の活動]

〈管理運営〉 研究・広報・社会貢献委員会委員

〈学会活動〉 イタリア学会監査、リアリズム文学研究会運営委員

[スペイン語]

大内 一 (OOUCHI Hajime) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語社会動態論VA、ヨーロッパ言語社会動態論VB、ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究A、ヨーロッパ・アメリカ言語社会論特別研究B

〈共通教育担当科目〉 知性への誘い

〈外国語学部担当科目〉 スペイン語14（通年）、スペイン歴史・文化概論a、スペイン歴史・文化講義b、スペイン歴史・文化演習Ia、スペイン歴史・文化演習Ib、スペイン歴史・文化特別演習a(A)、スペイン歴史・文化特別演習b(A)

[研究活動]

〈研究テーマ〉 中世カスティーリャ王権論、カスティーリャ中世都市研究、アルフォンソ10世研究、イサベル1世研究

〈所属学会〉 日本西洋史学会、西洋中世学会、スペイン史学会、日本イスパニヤ学会、大阪大学言語社会学会

[その他の活動]

〈管理運営〉 外国語学部長、大阪大学教育研究評議員、キャンパスライフ健康支援センター運営委員、大阪大学創立90周年・大阪外国語大学100周年記念事業記念募金実行委員、全学教育推進機構運営協議会委員、国際医療センター運営委員、全学施設マネジメント委員

〈学会活動〉大阪大学言語社会学会理事・編集委員、Intus-Legere Historia (Universidad Adolfo Ibañez) 海外編集委員

〈社会貢献活動〉大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会 咲耶会名誉会長、生産技術振興協会『生産と技術』編集委員

長谷川 信弥 (HASEGAWA Shinya) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉広域言語文化論 V A, B、世界の言語、ヨーロッパ・アメリカ言語構造論特別研究 A, B

〈共通教育担当科目〉

〈学部教育担当科目〉スペイン語 1、スペイン語 11(A)、スペイン語 Ia、スペイン語学演習 IIa、スペイン語学講義 a, b、スペイン語特別演習 a, b、スペイン語学概論 a

[研究活動]

〈研究テーマ〉スペイン語学、カタロニア語学、ロマンス語学

〈所属学会〉日本イスパニヤ学会、日本ロマンス語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「カタロニア語の文副詞 *Segurament* に関する語法研究」(大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻 言語社会共同研究プロジェクト 2020 「ヨーロッパ超域研究 2」、pp.1-16、2021年3月)

〈書評・論評・紹介〉

- ・スペイン語 単語力アップ講座 (全12回、各回4ページ)、NHK ラジオ講座テキスト、NHK 出版、2020年4月号～2021年3月号

[その他の活動]

〈管理運営〉教育オフィス員、外国語学部安全衛生管理委員会委員

〈学会活動〉日本ロマンス語学会理事(2020年4月～)

岡本 淳子 (OKAMOTO Junko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語文化表象論

〈共通教育担当科目〉スペイン語中級

〈学部教育担当科目〉スペイン語 4、スペイン語 13、スペイン文学概論、スペイン文学講義、スペイン文学特別演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉スペイン演劇

〈所属学会〉大阪大学言語社会学会、日本イスパニヤ学会、日本演劇学会、日本アメリカ演劇学会、International Federation for Theatre Research

[研究業績]

〈論文〉

- ・「アルフォンソ・サストレの実験的演劇『アナ・クライバー』—語り、時空間の飛躍とメタシアター—『演劇学論集』70号（日本演劇学会、2020年6月）pp.1-18.
- ・「フランコ独裁政権下の言論統制—1938年の出版法発布から1950年代までを中心に—」 *Estudios Hispánicos* 45号（大阪大学外国語学部スペイン語部会、2021年3月）pp.1-21.

〈書評・論評・紹介〉

- ・「バレリア・ルイセリ『俺の歯の話』』『日本イスパニヤ学会会報』27号（日本イスパニヤ学会、2020年10月）pp. 12-14.

[その他の活動]

〈管理運営〉 学生支援委員会副委員長

〈学会活動〉 日本イスパニヤ学会理事・編集委員長

松本 健二 (MATSUMOTO Kenji) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アメリカ言語文化表象論 III

〈共通教育担当科目〉 初級スペイン語、他

〈学部教育担当科目〉 スペイン語13、他

[研究活動]

〈研究テーマ〉 現代スペイン語圏文学

〈所属学会〉 日本イスパニヤ学会、日本ラテンアメリカ学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・小倉孝誠編『世界文学へのいざない：危機の時代に何を、どう読むか』新曜社（執筆箇所：「血族と共同体—ガルシア＝マルケス『百年の孤独』」 pp.78-85、「学校小説—バルガス＝リョサ『都会と犬ども』」 pp.174-181）、2020

〈翻訳・翻訳書〉

- ・パウリーナ・フローレス『恥さらし』白水社、2020

〈書評・論評・紹介〉

- ・「夜が歌を歌い始めた、夜が舞を舞い始めた」（2020年ラテンアメリカ文学回顧）『図書新聞』3476号、2020.12.19

〈研究助成〉

- ・科学研究費基盤研究（C）課題番号20K00470「現代スペイン語小説における記憶の回復：スペインとチリとペルーの紛争後文学の研究」

[その他の活動]

〈管理運営〉 マルチリンガル教育センター副センター長

中本 香 (NAKAMOTO Kaori) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉ヨーロッパ言語社会構造論 IV

〈学部教育担当科目〉スペイン歴史文化概論、スペイン語 2、スペイン語 3、スペイン語 1 4、スペイン歴史文化演習、スペイン歴史文化特別演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉近世スペイン君主政と政治共同体ならびに主権に関する研究

〈所属学会〉日本イスパニヤ学会、日本西洋史学会、スペイン史学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「スペイン継承戦争とスペイン独立戦争にみるイスパニア世界の「歴史的国制」主義」、Estudios Hispánicos 45、35-70 頁、大阪大学外国語学部スペイン語部会、2021.

〈研究助成〉

- ・基盤研究 A 「歴史的ヨーロッパにおける主権概念の批判的再構築」、平成 29～32 年度科学研究費助成金（研究代表者：古谷大輔）、研究分担者

[その他の活動]

〈管理運営〉なんでも相談室副室長、施設マネジメント委員会委員、国際交流委員会委員、協定校コンタクトパーソン（バリアドリード大学、マドリード自治大学）

GARCIA NARANJO, Josefa, Specially Appointed Associate Professor

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Master Classes Special Seminary in Spanish, Language Didactics and Methodology, Osaka University

<Foreign language classes> Speaking and Listening Classes in First and Second Year, Osaka University

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Didactics of Spanish; Applied Linguistics and Literature; Literature applied to the Spanish Class; Lexicography

<Academic society memberships> Spanish Society for Applied Linguistics (AESLA); Confederación Académica Nipona, Española y Latinoamericana (CANELA); Spanish Linguistics of Kansai Circle (CLHK); TADESKA Association

[Research achievements]

<Fieldworks> Applied Linguistics, Lexicography, Didactics

[ポルトガル語]

平田 惠津子 (HIRATA Etsuko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アメリカ言語文化表象論

〈共通教育担当科目〉 特別外国語演習（ポルトガル語）II

〈学部教育担当科目〉 ポルトガル語 3(A)・(B)、ポルトガル語圏文学概論、ポルトガル語圏文学演習 I、ポルトガル語圏文学演習 III、ポルトガル語圏文学演習 IV

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ブラジルモデルニズモ文学、日系ブラジル文学

〈所属学会〉 日本ポルトガル・ブラジル学会理事

[その他の活動]

〈管理運営〉 国際交流委員会委員、安全衛生委員、海外交流協定校コンタクトパーソン（サンパウロ大学）

〈学会活動〉 日本ポルトガル・ブラジル学会理事

坂東 照啓 (BANDO Teruhiro) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 ヨーロッパ言語構造論 IX、世界の言語

〈共通教育担当科目〉 欧米言語文化研究入門

〈学部教育担当科目〉 ポルトガル語 1、ポルトガル語 11、ポルトガル語圏語学概論、ポルトガル語圏言語演習、ポルトガル語科教育法 I、卒業論文（ポルトガル語）

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ポルトガル語学、ブラジル文化学

〈所属学会〉 言語文化学会

[研究業績]

〈論文〉

・「ポルトガル語学校文法における文の種類と節の拡大・縮小に関する概説（2）」

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉 仁愛大学公開講座担当

鳥居 玲奈 (TORII Rena) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 アメリカ言語構造論 IAB、ヨーロッパ・アメリカ言語社会研究序説

〈共通教育担当科目〉 特別外国語演習（ポルトガル語）I

〈学部教育担当科目〉 ポルトガル語 2(A)(B)、ポルトガル語 12、ポルトガル語圏語学講義 ab、ポルトガル語圏言語演習 IIIab

[研究活動]

〈研究テーマ〉 言語学、ポルトガル語学

〈所属学会〉 日本ポルトガル・ブラジル学会、大阪大学言語社会学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・鳥居玲奈 (2021) 「ブラジル植民地時代における言語接触—トゥピ語にまつわる用語の整理—」、『ブラジル研究』17、大阪大学外国語学部ブラジル研究会。

[その他の活動]

〈管理運営〉 外国学図書館運営委員会委員、人権問題委員会副委員長、協定校コンタクト・パーソン (カンピーナス大学)

サルダニャ・カリーナ (Karina Saldanha) 助教

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Seminar in Luso-Brazilian Culture, Academic Writing in Portuguese (Portuguese II a), Lecture on Luso-Brazilian Culture

<General Education classes> Western Culture and Society G

<Foreign language classes> Elementary Portuguese, Special Foreign Language Seminar (Portuguese), Portuguese14

[Academic activities]

<Research Fields and interests> Portuguese as Foreign Language Education; Portuguese Literature; History and Culture of Portugal; Intercultural Dialogue; Ethnography; Paremiology

<Academic society memberships> AJELB, Japanese Association of Luso-Brazilian Studies.

[Research achievements]

<Papers>

Irregularidade na pronúncia de verbos em português : Projeto Audio-flashcards da conjugação verbal em PE e PB , *Anais : Colóquio de Estudos Luso-Brasileiros*. 48 pp.35-44, 2020 - Aires, Pedro; Iyanaga, Shiro; Kibe, Masayuki; Saldanha, Karina; Ueda, Toshimi

<Oral Presentations, Lectures, Reports in conference>

The gesture in the learning and teaching process of Portuguese as Foreign Language - a contrastive study between PE and PB - Colloquium of the Japanese Association of Luso-Brazilian Studies (29/03/2020)

[Other activities]

Open Campus 2020 – online content (video) creation

Rogério Akiti, DEZEM, Specially Appointed Associate Professor

[Teaching activities]

<Graduate School classes> Brazilian History and Culture, Japanese Immigration History

<Foreign language classes> Brazilian Portuguese Conversation and Reading, Basic, Intermediate, Advanced

[Academic activities]

<Research Fields and interests> History, Sociology, Photography

<Academic society memberships> 日本ポルトガル・ブラジル学会(AJELB)

[Research achievements]

<Papers>

“Fosco Maraini (1912-2004) e o Japão”, *Studies in Language and Culture*, 47, March 2021, Graduate School of Language and Culture Osaka University, pp.169-195

<Oral Presentations, Lectures, Reports in conference>

“Espaço Urbano japonês e a Fotografia de Rua” Lecture at Fronteiras Japão Seminar (ZOOM) CACAU Faculdade de Arquitetura da Universidade Federal de Juiz de Fora Minas Gerais Brasil (February 26th 2021)